

第5期

高松市高齢者保健福祉計画

計画期間 平成24年度～26年度



< 計画の進捗状況（進行管理） >

高松市 健康福祉局

長寿福祉部

- ・長寿福祉課
- ・介護保険課
- ・地域包括支援センター

保健所

- ・保健センター

目 次

1	計画の概要	1
2	高齢者の状況	2
3	日常生活圏域、地域包括支援センター管轄地域	3
4	計画の進捗状況	12
(1)	介護保険事業等の取組	12
ア	要介護（要支援）認定者数の推移	12
イ	サービス利用者の推移	13
ウ	給付実績	16
エ	サービス事業者の指定状況	22
オ	介護予防事業	24
カ	包括的支援事業	29
キ	任意事業	34
(2)	高齢者保健福祉事業の取組	37
ア	生涯を通じた健康づくりの推進	37
イ	生きがいづくりと社会活動への参加の促進	42
ウ	生活支援事業の推進	49
エ	認知症高齢者対策の推進	51
オ	高齢者虐待防止対策等の推進	52
カ	地域ケア体制の充実	53
キ	災害時の援護体制の整備	56
ク	市民活動団体との連携	56
ケ	福祉意識の醸成・啓発	56
コ	安全で住みよい環境づくりの推進	57
(3)	サービス基盤の充実	58
ア	介護保険対象施設	58
イ	介護保険対象外施設	58

<参考>

実施施策一覧（平成 25 年度 事業実績 平成 26 年度 事業計画）	59
-------------------------------------	----

1 計画の概要

計画の基本理念

高齢者が住み慣れた地域で、
健康で生きがいを持ち、尊厳を保ちながら、
安心して暮らし続けられる社会の実現

計画の目標

健康と生きがいづくり

安心して暮らせる
地域づくり

安全で住みよい
環境づくり

重点課題

① 地域包括ケアの推進

高齢者が、寝たきりや認知症などで介護や支援が必要な状態になっても、住み慣れた地域社会で、安心して安全に暮らせるよう、高齢者を地域全体で支える体制を充実させる必要があります。

② 健康づくり等と社会活動への参加の推進

明るく活力に満ちた高齢社会を確立するためには、高齢者が健康であるとともに、地域社会の中で自らの知識や経験を生かして積極的な役割を果たしていくことが重要です。

③ 生活環境の整備推進

突如発生する災害から高齢者を守る体制を構築するほか、公共交通機関や道路等のバリアフリー化、防犯・交通安全対策の推進など、高齢者にやさしい生活環境の整備が重要です。

④ サービス基盤の充実

地域包括ケアを推進するとともに、在宅サービスと施設サービスのバランスが取れた高齢者福祉施策を推進することが重要です。

事業の取組

介護保険事業等の取組

- 日常生活圏域、
地域包括支援センター管轄地域

- 介護保険事業の取組

- 地域支援事業の取組



サービス基盤の充実

- 介護保険対象サービス基盤の充実
- 介護保険対象外サービス基盤の充実

高齢者保健福祉事業の取組

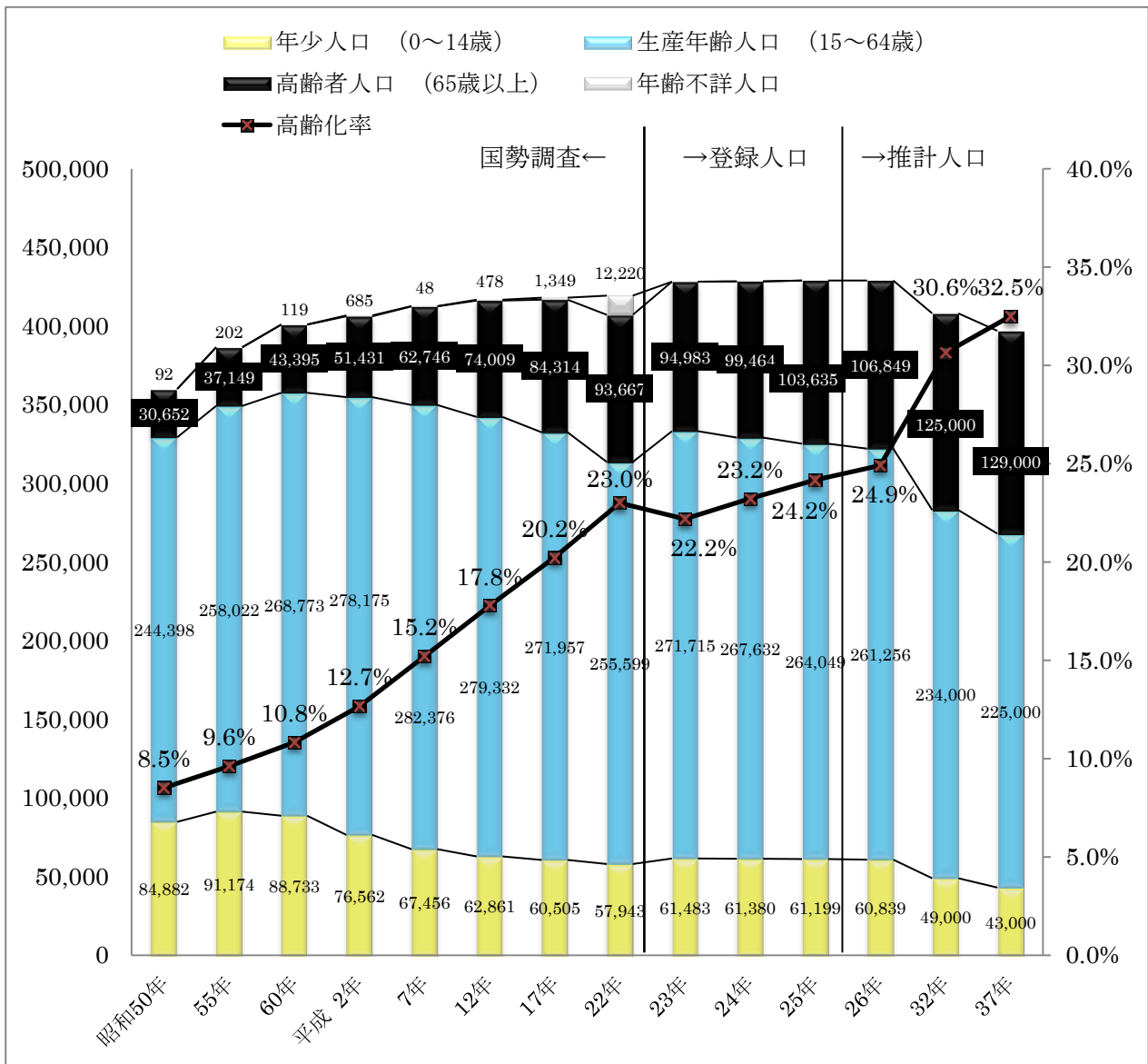
- 生涯を通じた健康づくりの推進
- 生きがいづくりと社会活動への参加の促進
- 生活支援事業の推進
- 認知症高齢者等対策の推進
- 高齢者虐待防止対策等の推進
- 地域包括ケア体制の充実
- 災害時の援護体制の整備
- 市民活動団体との連携等
- 福祉意識の醸成・啓発
- 安全で住みよい環境づくりの推進

2 高齢者の状況

平成 25 年 10 月 1 日で本市の総人口は 428,883 人となり、年齢別人口では「0～14 歳」は 61,199 人、「15～64 歳」は 264,049 人、「65 歳以上」は 103,635 人となっています。

15 歳未満人口、15～64 歳人口ともに減少する中、65 歳以上の人口は 103,635 人に上昇し、割合は 24.2% と、4 人に 1 人が 65 歳以上という本格的な高齢社会となっています。

将来人口の推計から総人口については、平成 26 年度 428,944 人、平成 32 年度 408,000 人、平成 37 年度 397,000 人と減少する一方、「65 歳以上」の高齢者は増加を続け、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の増加、さらに、寝たきりや認知症高齢者の増加などにより、今後、地域社会での様々な影響が懸念されています。



※ (昭和 50 年～平成 22 年) 国勢調査

※ (平成 23 年～平成 25 年) 住民基本台帳人口

※ (平成 26 年) 住民基本台帳人口を基準としてコーホート要因法により推計

※ (平成 32 年・平成 37 年) 平成 22 年国勢調査を基準人口として推計

3 日常生活圏域、地域包括支援センター管轄地域

第3期介護保険事業計画から、高齢者が住み慣れた地域で生活を続けることができるようにするため、市内をいくつかに分けた日常生活圏域を設定し、その圏域ごとにサービス量を見込むこととされました。

また、日常生活圏域の設定に当たっては、「その住民が日常生活を営んでいる地域」を地理的条件、人口、交通事情、介護給付等対象サービスを提供するための施設の整備状況などを勘案して定め、その地域ごとに認知症対応型共同生活介護などの地域密着型サービスの量を見込み、その見込量の確保のための方策を講じることとされています。

本市においては、小学校区を基本に行政サービスをはじめ、自治会活動や保健・福祉活動等が行われ、地域の結びつきも強いものの、介護保険サービスは、高齢者の身体状況等に応じた多様なサービスを提供するとともに、利用者のサービスの選択肢をより広いものとする必要があることから、小学校区よりやや広い中学校区を基本として、人口規模等を勘案し、19の日常生活圏域を設定しています。

また、要支援・要介護状態に陥る可能性のある二次予防事業対象者や要支援認定者への介護予防サービスの提供、困難事例の相談、高齢者の権利擁護、介護支援専門員支援を推進する拠点として、平成18(2006)年度に地域包括支援センターを設置し、その運営については、公平性・中立性を確保するため、本市直営で実施しています。

地域包括支援センターは、当初8か所設置しましたが、困難事例等の件数増加に伴い、各センターが管轄する日常生活圏域を越えてより柔軟な対応をするため、平成21(2009)年度から1センターに統合し、7か所をサブセンターとして機能させてきました。

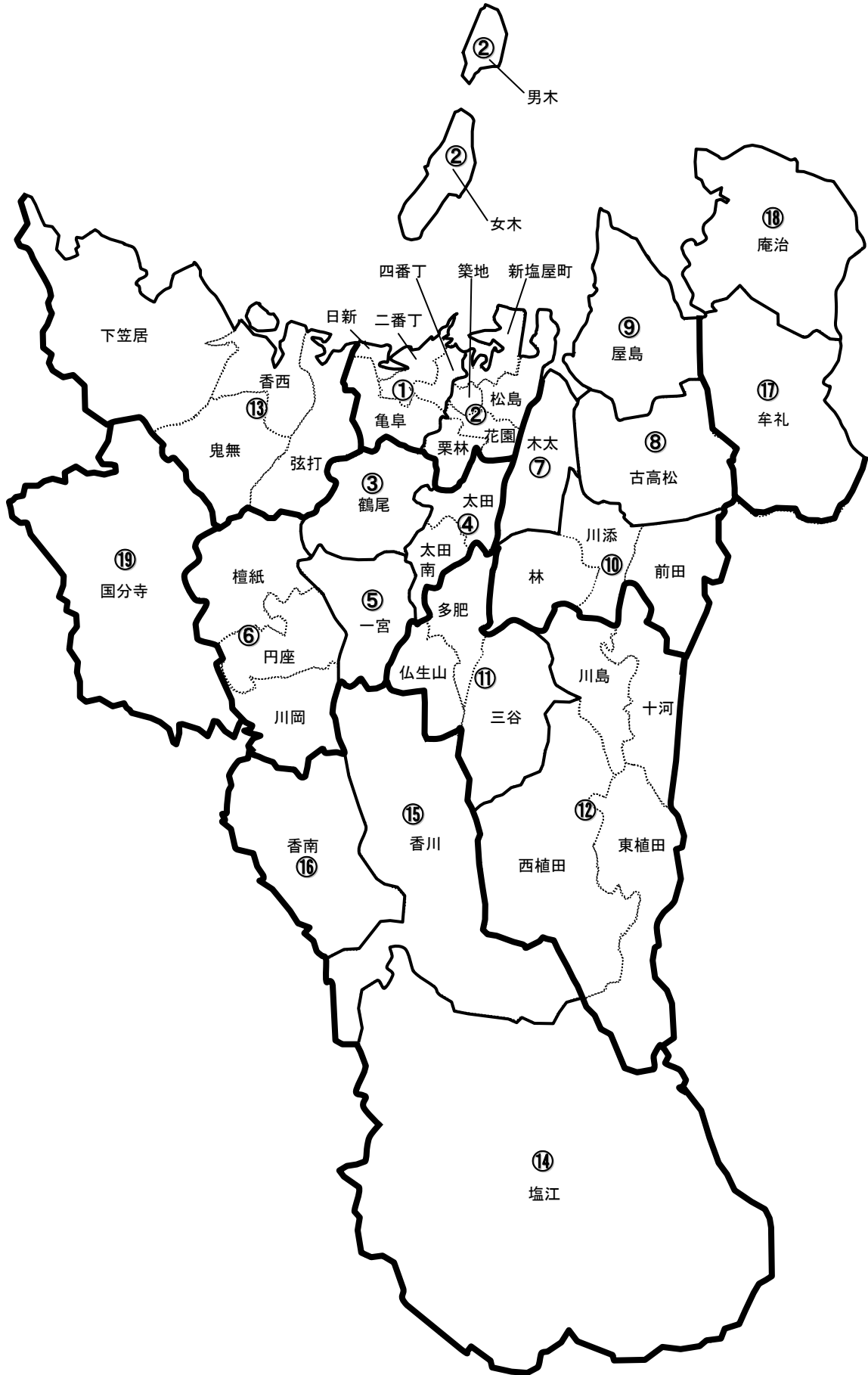
また、平成21年度から高松市内に28か所ある老人介護支援センターを地域包括支援センターの窓口（ブランチ）として委託し、緊密な連携により、高齢者等からの様々な相談に対応しています。

本計画期間においても策定段階においては体制を継続し、管轄地域は原則として現行どおりとしますが、総合センターの窓口一元化等により、サブセンターの設置場所及びサブセンターが管轄する地区については、見直しが想定されております。

地域包括支援センター管轄地域

管轄するセンター	日常生活圏域	地区	窓口（老人介護支援センター）	
(中央)	①中央西	日新、二番丁、亀阜、四番丁	さぬき、あかね	
	②中央東	新塩屋町、築地、花園、松島、栗林、女木、男木	玉藻荘、はなぞの園、高松市社会福祉協議会、ほのぼの	
サ ブ セ ン タ ー	一宮	③鶴尾	鶴尾	西春日
		④太田	太田、太田南	おりいぶ荘
		⑤一宮	一宮	一宮の里
		⑥香東	川岡、円座、檀紙	岡本荘、大寿苑
	古高松	⑦木太	木太	法寿苑、さくら荘
		⑧古高松	古高松	香色苑
		⑨屋島	屋島	逅里苑
		⑩協和	前田、川添、林	弘恩苑、さくら荘
	山田	⑪龍雲	三谷、仏生山、多肥	竜雲舜虹苑、なでしこ香川
		⑫山田	川島、十河、西植田、東植田	すみれ荘、高松さんさん荘
	勝賀	⑬勝賀・下笠居	香西、弦打、鬼無、下笠居	シオンの丘ホーム、大寿苑、ハピネス
	香川	⑭塩江	塩江	高松市社会福祉協議会塩江
		⑮香川	香川	高松市社会福祉協議会香川
		⑯香南	香南	高松市社会福祉協議会香南
	牟礼	⑰牟礼	牟礼	守里苑
		⑱庵治	庵治	あじの里
	国分寺	⑲国分寺	国分寺	高松市社会福祉協議会国分寺

日常生活圏域



日常生活圏域人口推移

(※10月1日現在/単位：人、%)

日常生活圏域	平成 17 年	平成 20 年	平成 23 年	平成 25 年	分布率 (平成 25 年)
① 中央西	33,949	33,452	33,289	33,151	7.7
② 中央東	44,895	43,305	44,484	43,818	10.2
③ 鶴尾	12,085	11,480	10,847	10,664	2.5
④ 太田	37,459	35,753	38,845	36,795	8.6
⑤ 一宮	15,452	15,893	15,459	15,681	3.7
⑥ 香東	21,947	22,100	23,149	23,052	5.4
⑦ 木太	28,948	31,821	28,694	32,097	7.5
⑧ 古高松	20,761	21,108	21,526	21,495	5.0
⑨ 屋島	23,239	21,991	21,355	21,058	4.9
⑩ 協和	21,669	23,422	24,362	25,739	6.0
⑪ 龍雲	21,932	23,292	24,786	25,325	5.9
⑫ 山田	23,337	23,254	23,118	22,875	5.3
⑬ 勝賀・下笠居	34,301	33,988	33,573	33,325	7.8
⑭ 塩江	3,546	3,330	3,115	2,983	0.7
⑮ 香川	24,948	24,813	24,528	24,275	5.7
⑯ 香南	7,999	7,976	7,838	7,714	1.8
⑰ 牟礼	18,330	18,457	18,340	18,091	4.2
⑱ 庵治	6,411	6,104	5,866	5,647	1.3
⑲ 国分寺	24,856	24,926	25,007	25,098	5.8
合 計	426,064	426,465	428,181	428,883	100.0

高齢者(65歳以上)人口の推移

(※10月1日現在/単位：人、%)

日常生活圏域	平成 17 年	平成 20 年	平成 23 年	平成 25 年	高齢化率 (平成 25 年)
① 中央西	7,650	8,018	8,191	8,829	26.6
② 中央東	10,638	10,790	11,085	11,547	26.4
③ 鶴尾	2,948	3,152	3,210	3,460	32.4
④ 太田	5,229	5,452	6,142	6,433	17.5
⑤ 一宮	3,316	3,774	3,844	4,262	27.2
⑥ 香東	4,510	4,772	5,105	5,423	23.5
⑦ 木太	4,151	5,035	5,058	6,097	19.0
⑧ 古高松	4,044	4,543	4,965	5,460	25.4
⑨ 屋島	3,288	3,677	3,904	4,347	20.6
⑩ 協和	4,787	5,300	5,501	6,082	23.6
⑪ 龍雲	4,616	4,972	5,224	5,677	22.4
⑫ 山田	4,422	4,798	4,994	5,519	24.1
⑬ 勝賀・下笠居	6,996	7,626	7,897	8,569	25.7
⑭ 塩江	1,312	1,306	1,231	1,225	41.1
⑮ 香川	4,548	5,230	5,742	6,508	26.8
⑯ 香南	1,676	1,791	1,845	2,029	26.3
⑰ 牟礼	3,550	3,932	4,232	4,686	25.9
⑱ 庵治	1,675	1,872	1,871	1,955	34.6
⑲ 国分寺	4,150	4,550	4,942	5,527	22.0
合 計	83,506	90,590	94,983	103,635	24.2

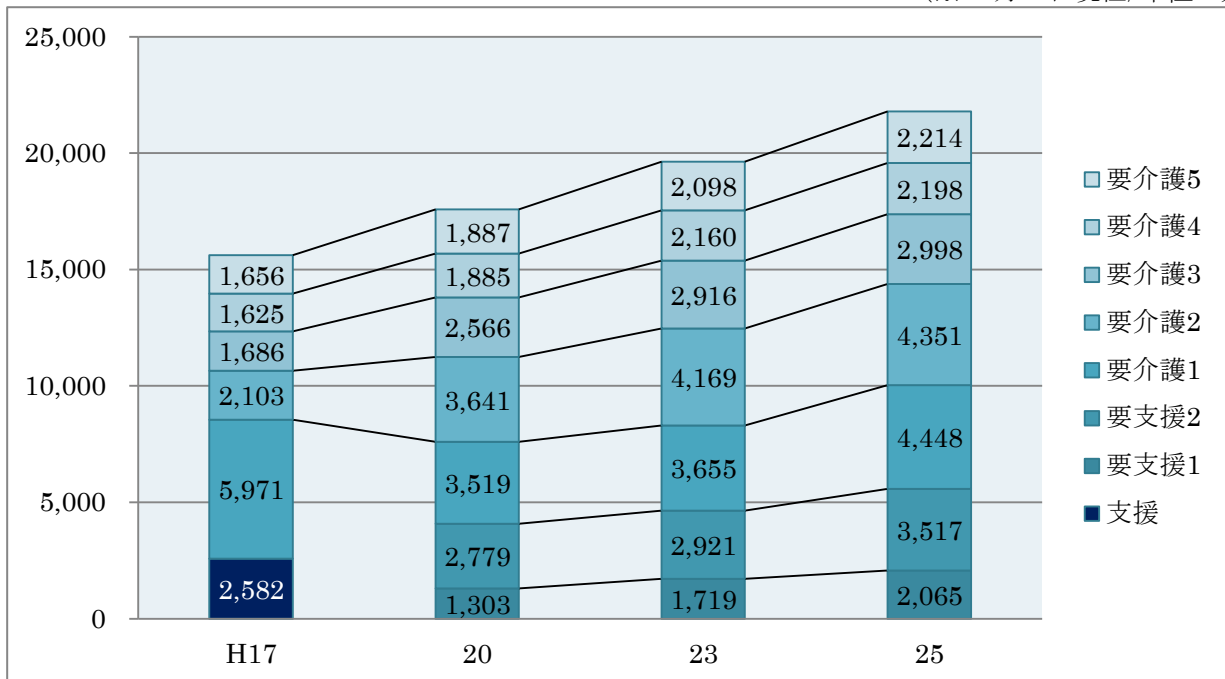
第1号被保険者の要介護等認定者数

(※10月1日現在/単位：人、%)

日常生活圏域	平成17年	平成20年	平成23年	平成25年	認定者率 (平成25年)
① 中央西	1,509	1,810	1,976	2,154	24.4
② 中央東	1,928	2,173	2,465	2,716	23.5
③ 鶴尾	644	735	770	824	23.8
④ 太田	790	942	1,109	1,334	20.7
⑤ 一宮	674	770	787	827	19.4
⑥ 香東	900	951	1,018	1,108	20.4
⑦ 木太	734	851	1,004	1,158	19.0
⑧ 古高松	711	831	979	1,075	19.7
⑨ 屋島	569	647	718	835	19.2
⑩ 協和	953	1,075	1,199	1,311	21.6
⑪ 龍雲	833	945	1,076	1,249	22.0
⑫ 山田	1,033	1,084	1,116	1,171	21.2
⑬ 勝賀・下笠居	1,274	1,384	1,573	1,704	19.9
⑭ 塩江	243	307	332	363	29.6
⑮ 香川	903	990	1,109	1,266	19.5
⑯ 香南	345	369	429	440	21.7
⑰ 牟礼	534	660	763	890	19.0
⑱ 庵治	322	332	375	406	20.8
⑲ 国分寺	724	724	840	960	17.4
合 計	15,623	17,580	19,638	21,791	21.0

第1号被保険者の要介護等認定者数（要介護度別）

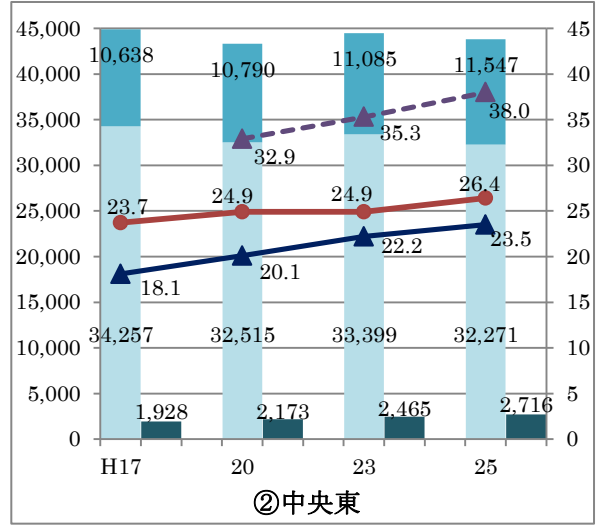
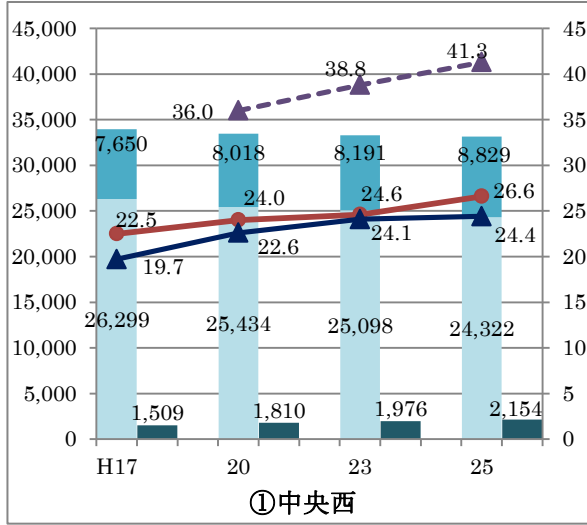
(※10月1日現在/単位：人)



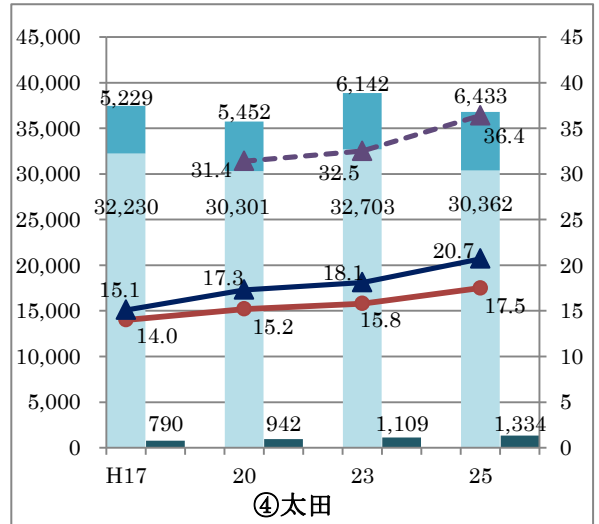
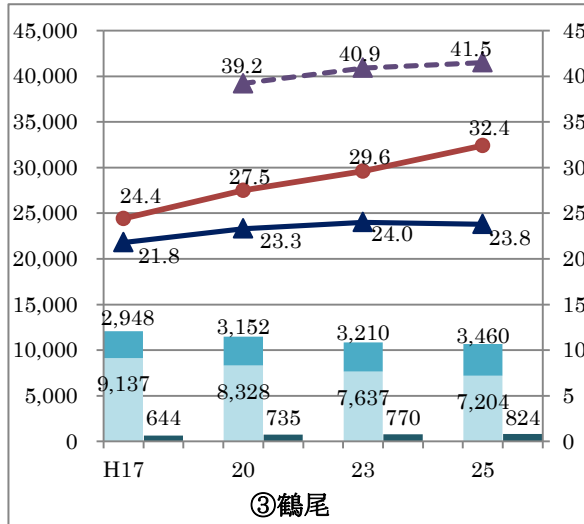
※ H17 当時においては、要支援高齢者について区分はなかった。

※75歳以上認定率(%) = [75歳以上要介護等認定者数] ÷ [75歳以上高齢者数] × 100

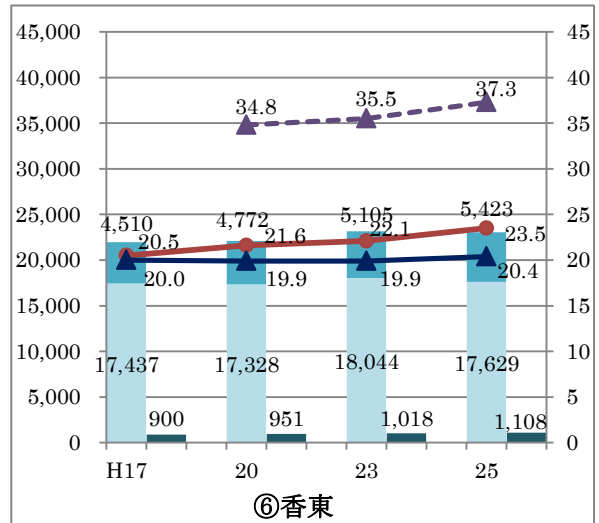
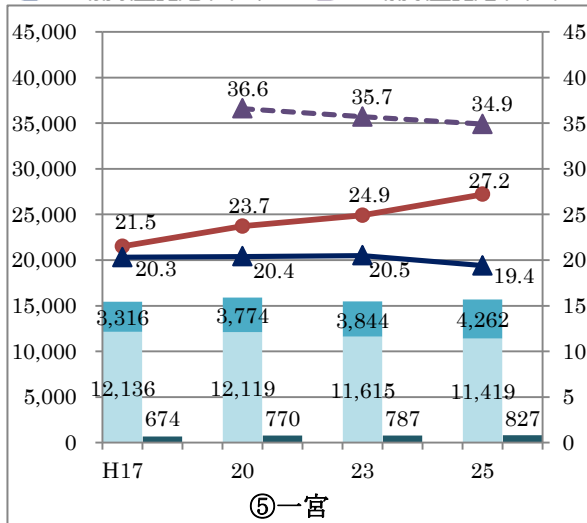
■ 第1号被保険者の要介護等認定者数(人) ■ 高齢者以外人口(人) ■ 高齢者人口(人) ● 高齢化率(%)
▲ 65歳以上認定率(%) ▲ 75歳以上認定率(%)



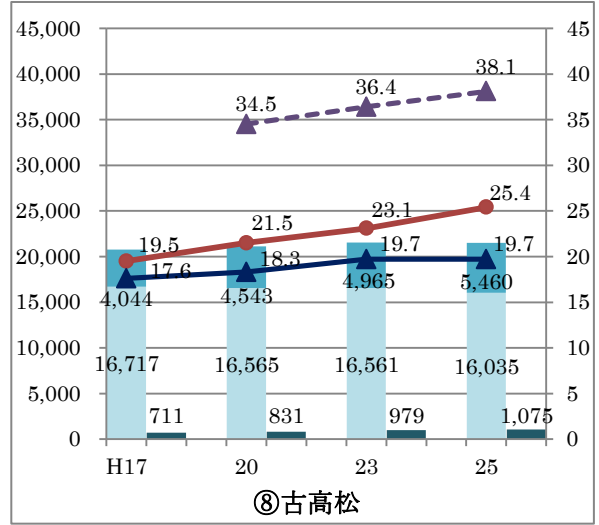
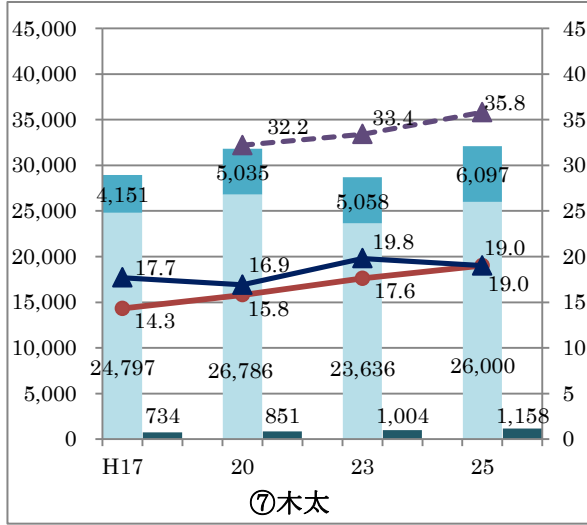
■ 第1号被保険者の要介護等認定者数(人) ■ 高齢者以外人口(人) ■ 高齢者人口(人) ● 高齢化率(%)
▲ 65歳以上認定率(%) ▲ 75歳以上認定率(%)



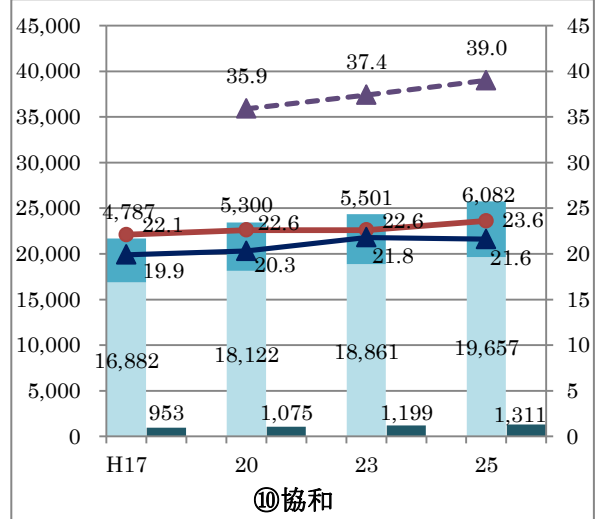
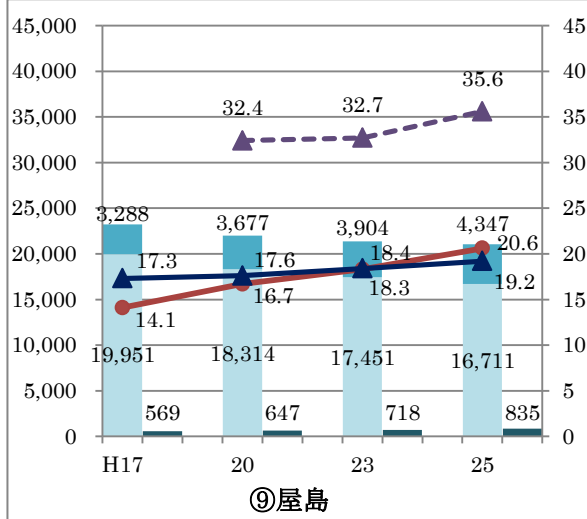
■ 第1号被保険者の要介護等認定者数(人) ■ 高齢者以外人口(人) ■ 高齢者人口(人) ● 高齢化率(%)
▲ 65歳以上認定率(%) ▲ 75歳以上認定率(%)



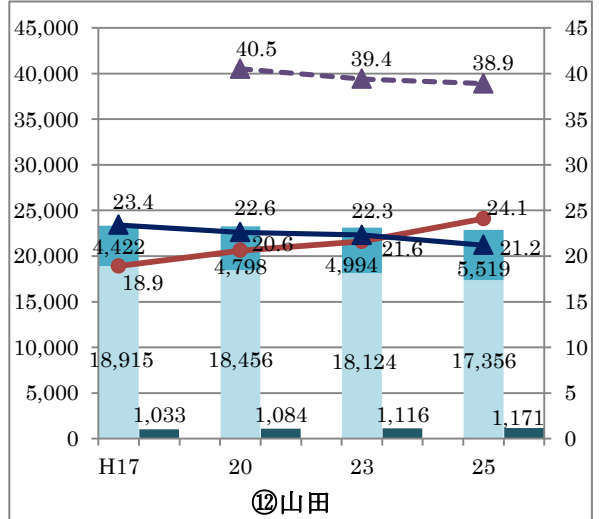
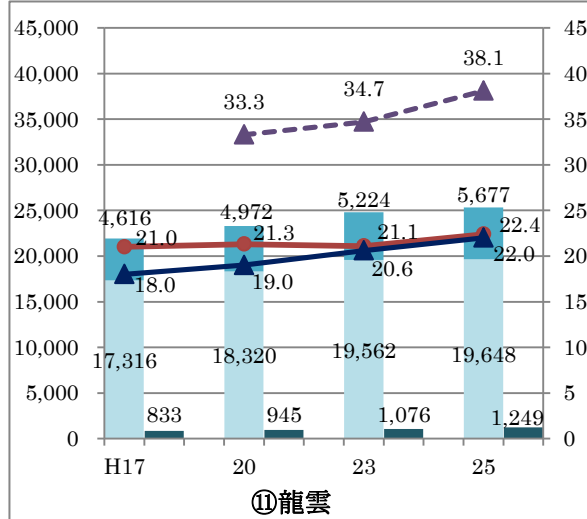
■ 第1号被保険者の要介護等認定者数(人)
■ 高齢者以外人口(人)
■ 高齢者人口(人)
● 高齢化率(%)
▲ 65歳以上認定率(%)
▲ 75歳以上認定率(%)



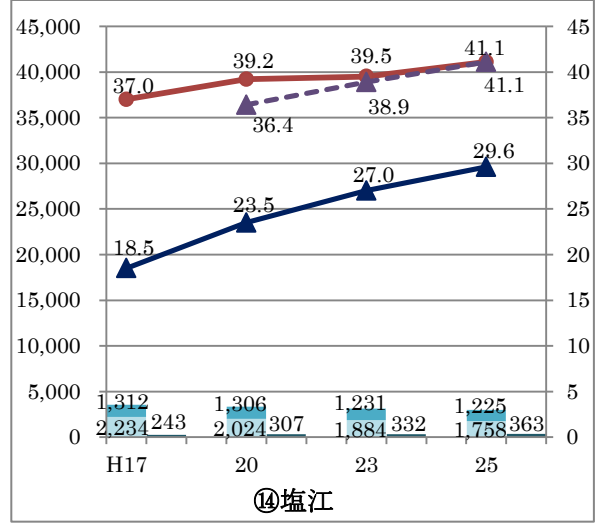
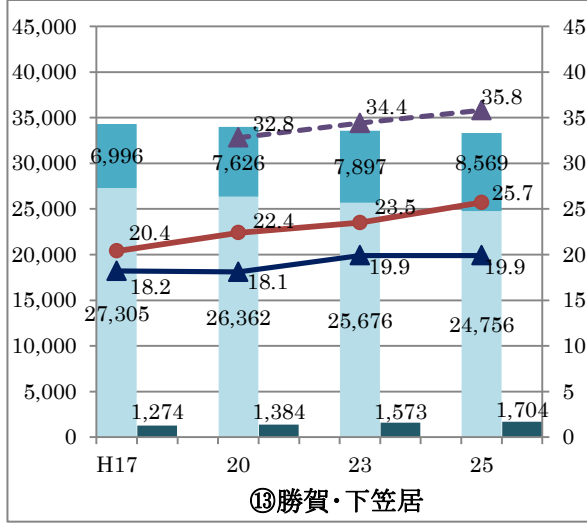
■ 第1号被保険者の要介護等認定者数(人)
■ 高齢者以外人口(人)
■ 高齢者人口(人)
● 高齢化率(%)
▲ 65歳以上認定率(%)
▲ 75歳以上認定率(%)



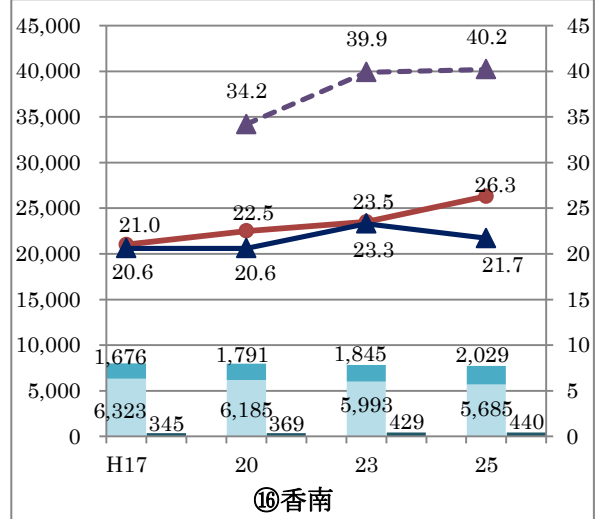
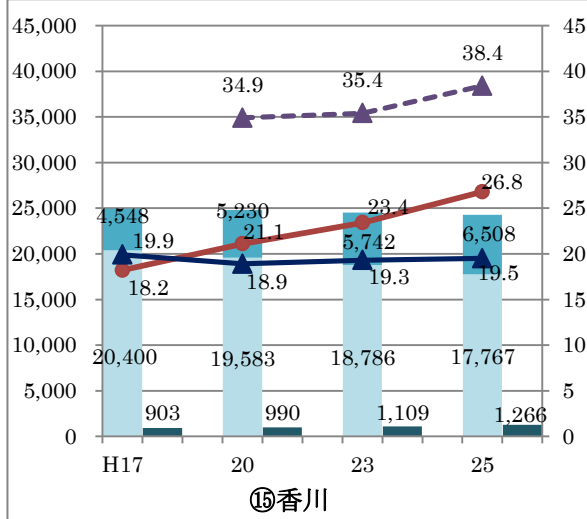
■ 第1号被保険者の要介護等認定者数(人)
■ 高齢者以外人口(人)
■ 高齢者人口(人)
● 高齢化率(%)
▲ 65歳以上認定率(%)
▲ 75歳以上認定率(%)



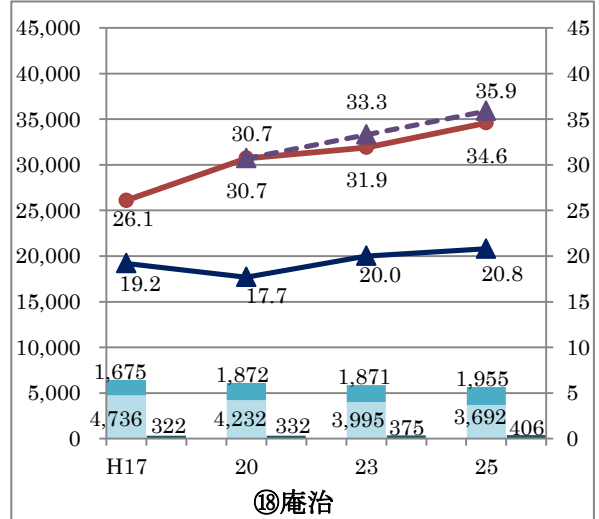
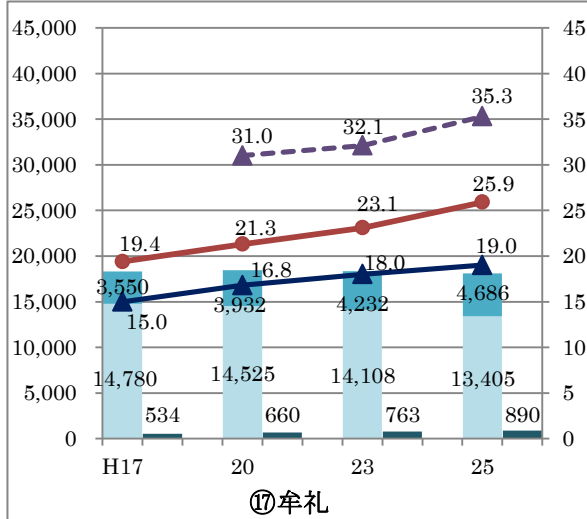
■ 第1号被保険者の要介護等認定者数(人)
■ 高齢者以外人口(人)
■ 高齢者人口(人)
● 高齢化率(%)
▲ 65歳以上認定率(%)
▲ 75歳以上認定率(%)

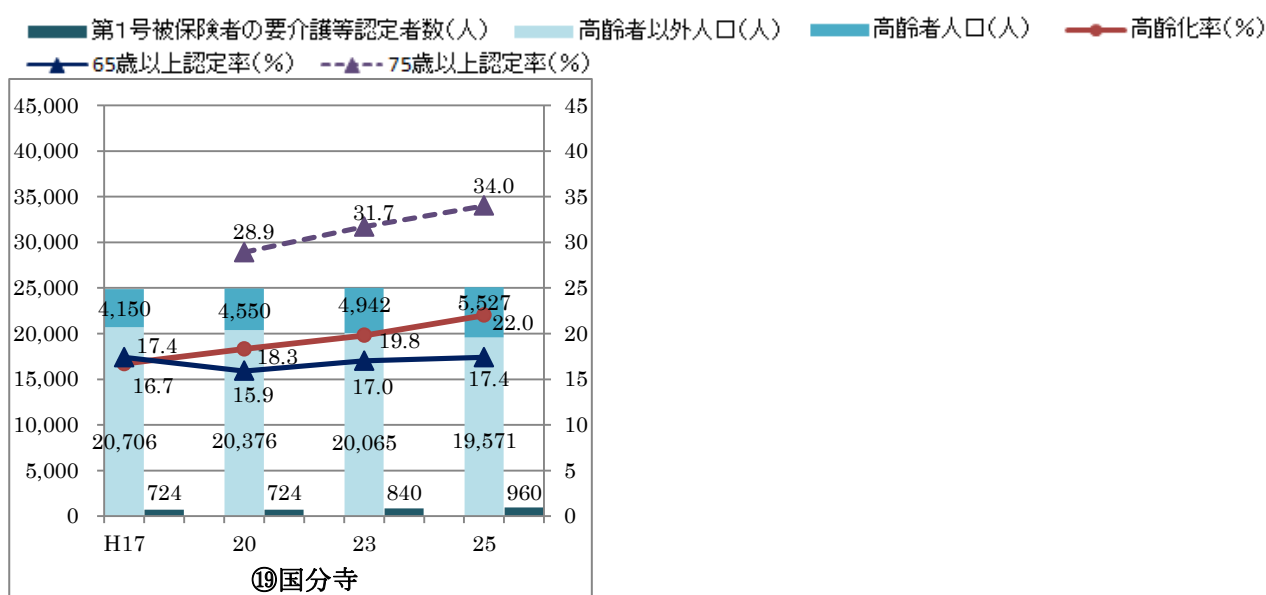


■ 第1号被保険者の要介護等認定者数(人)
■ 高齢者以外人口(人)
■ 高齢者人口(人)
● 高齢化率(%)
▲ 65歳以上認定率(%)
▲ 75歳以上認定率(%)



■ 第1号被保険者の要介護等認定者数(人)
■ 高齢者以外人口(人)
■ 高齢者人口(人)
● 高齢化率(%)
▲ 65歳以上認定率(%)
▲ 75歳以上認定率(%)





<高齢化率について>

- * H25. 10. 1 現在 高齢化率 25%超（下線は 30%超）の圏域 ※高松市全体：24.2%
中央西、中央東、鶴尾、一宮、古高松、勝賀・下笠居、塩江、香川、香南、牟礼、庵治、国分寺の12地区。
- * 高齢化率は全ての圏域で増加している。

<要介護等認定率について>

※H25. 10. 1 現在 高松市全域における平均認定率

第1号被保険者（65歳以上）の要介護等認定率：21.0%

後期高齢者（75歳以上）における要介護等認定率：37.6%

- * 平成25年度実績の65歳以上の要介護認定率において、平均を2%以上超えている高い地域は、中央西、中央東、鶴尾、塩江の4地区。
- * 平成25年度実績の75歳以上の要介護認定率において、平均を2%以上超えている高い地域は、中央西、鶴尾、塩江、香南の4地区
- * 要介護等認定者率は、おおむね増加している。一宮及び山田については、高齢化率が増加する一方で65歳以上要介護等認定率及び75歳以上要介護認定率双方ともに減少している。
- * H25. 10. 1 現在、後期高齢者（75歳以上）における要介護等認定者の割合は、すべての圏域で30%を超えている。
- * 比較的高齢化率が低い太田、木太でも要介護等認定者率は他圏域と同程度である。
- * 全地区において、65歳以上高齢者の要介護認定率と75歳以上高齢者の要介護認定率との差が大きい。

4 計画の進捗状況

(1) 介護保険事業の取組

ア 要介護（要支援）認定者数の推移

要介護（要支援）認定者数は、高齢者人口の伸びに伴い増加しています。
認定率（第1号被保険者数に占める要介護（要支援）認定者の割合）も、県内平均と比べ、高い傾向にあります。

要介護（要支援）認定者数

(単位：人、%)

区分		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成 24年度	計画	1,934 (8.9)	3,252 (15.0)	4,022 (18.6)	4,755 (22.0)	3,123 (14.5)	2,248 (10.4)	2,295 (10.6)	21,629 (100.0)
	実績	1,870 (8.8)	3,263 (15.3)	4,139 (19.4)	4,508 (21.1)	3,085 (14.4)	2,194 (10.3)	2,294 (10.7)	21,353 (100.0)
	計画比	(96.7)	(100.3)	(102.9)	(94.8)	(98.8)	(97.6)	(100.0)	(98.7)
25年度	計画	1,960 (8.5)	3,442 (15.0)	4,184 (18.2)	5,065 (22.0)	3,389 (14.8)	2,382 (10.4)	2,542 (11.1)	22,964 (100.0)
	実績	2,112 (9.4)	3,573 (16.0)	4,551 (20.4)	4,522 (20.2)	3,094 (13.9)	2,249 (10.1)	2,246 (10.0)	22,347 (100.0)
	計画比	107.8	103.8	108.8	89.3	91.3	94.4	88.4	97.3
26年度	計画	2,141 (8.7)	3,616 (14.8)	4,473 (18.2)	5,352 (21.8)	3,643 (14.9)	2,526 (10.3)	2,781 (11.3)	24,532 (100.0)
	実績	2,144 (9.4)	3,637 (16.0)	4,665 (20.6)	4,591 (20.2)	3,148 (13.9)	2,265 (10.0)	2,251 (9.9)	22,701 (100.0)
	計画比	100.1	101.6	104.3	85.8	86.4	89.7	80.9	92.5

※各年度の上段の数値は人数で、各月平均値、下段の()書き数値は構成率(%)、26年度は4月実績

要介護（要支援）認定率・平均要介護度

区分	平成24年3月	25年3月	26年3月
認定率(%)	20.8	20.9	20.8
平均要介護度	2.14	2.05	2.00

※認定率は、第1号被保険者数に占める認定者数(第1号被保険者)の割合です。
ここでいう「区分」の月は「介護保険事業状況報告(月報)」の報告月を表しています。

<参考>香川県 要介護（要支援）認定者数等

(単位：人)

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成24年3月	4,922	7,572	9,553	9,768	7,128	5,751	5,537	50,231
25年3月	5,407	8,152	10,462	10,176	7,029	5,906	5,444	52,576
26年3月	5,925	8,521	11,169	10,171	7,252	6,073	5,337	54,448

区分	平成24年3月	25年3月	26年3月
認定率(%)	18.9	19.1	19.1
平均要介護度	1.92	1.85	2.01

※認定率(第1号被保険者のみ)

(資料)介護保険事業状況報告3月暫定版より

イ サービス利用者数の推移

在宅サービスの利用者数は、要介護（要支援）認定者数の伸びに伴い増加しています。

また、平成 25(2013)年度の施設サービス利用者数は、介護老人福祉施設の整備の進展等に伴い、平成 24(2012)年度に比べて、1.6%ほど増加しています。

なお、平成 24 年度に、複合型サービス 2 事業者と定期巡回・随時対応型訪問介護看護 2 事業者を選定（うち 1 事業者が辞退）し、同年度にこのうちの複合型サービス 1 事業者がサービスを開始しました。

また、平成 25 年度に、残る複合型サービス 1 事業者と定期巡回・随時対応型訪問介護看護 1 事業者がサービスを開始しました。

平成 25 年度の選定は、特定施設入居者生活介護 1 事業者、定期巡回・随時対応型訪問介護看護 1 事業者と、認知症対応型共同生活介護 2 事業者であり、このうち、特定施設入居者生活介護事業者については平成 26(2014)年度からサービスを開始しています。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護 1 事業者と、認知症対応型共同生活介護 2 事業者の整備が終了し、サービスが開始される予定の平成 26 年度末には、第 5 期計画で計画した整備を達成することになります。

在宅サービス利用者数

(単位：人、%)

区 分		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
平成 24 年度	計 画	1,323 (8.3)	2,541 (16.0)	3,342 (21.1)	4,023 (25.3)	2,332 (14.7)	1,257 (7.9)	1,062 (6.7)	15,880 (100.0)
	実 績	1,191 (7.7)	2,403 (15.4)	3,290 (21.1)	3,796 (24.4)	2,397 (15.4)	1,332 (8.6)	1,144 (7.4)	15,553 (100.0)
	計画比	(90.0)	(94.6)	(98.4)	(94.4)	(102.8)	(106.0)	(107.7)	(97.9)
25 年度	計 画	1,397 (8.1)	2,790 (16.2)	3,546 (20.6)	4,307 (25.0)	2,611 (15.1)	1,340 (7.8)	1,251 (7.2)	17,242 (100.0)
	実 績	1,286 (7.9)	2,558 (15.8)	3,592 (22.2)	3,874 (23.9)	2,377 (14.6)	1,364 (8.4)	1,161 (7.2)	16,212 (100.0)
	計画比	92.1	91.7	101.3	89.9	91.0	101.8	92.8	94.0
26 年度	計 画	1,585 (8.4)	3,037 (16.1)	3,865 (20.5)	4,581 (24.3)	2,890 (15.3)	1,426 (7.6)	1,463 (7.8)	18,847 (100.0)
	実 績	1,318 (7.9)	2,682 (16.1)	3,762 (22.6)	3,928 (23.6)	2,423 (14.5)	1,377 (8.3)	1,173 (7.0)	16,663 (100.0)
	計画比	83.2	88.3	97.3	85.7	83.8	96.6	80.2	88.4

※「実績」は各月平均値。各年度の上段の数値は人数で、下段の()書き数値は構成率(%)、

26 年度は 3 月利用、4 月審査分

施設サービス利用者数

(単位：人、%)

区 分		介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	合 計
平成 24年度	計 画	1,526 (54.0)	1,113 (39.4)	186 (6.6)	2,825 (100.0)
	実 績	1,441 (53.9)	1,051 (39.3)	180 (6.8)	2,672 (100.0)
	計画比	(94.4)	(94.4)	(96.8)	(94.6)
25年度	計 画	1,584 (54.0)	1,203 (41.0)	145 (5.0)	2,932 (100.0)
	実 績	1,480 (54.5)	1,072 (39.5)	164 (6.0)	2,716 (100.0)
	計画比	(93.4)	(89.1)	(113.1)	(92.6)
26年度	計 画	1,642 (53.6)	1,274 (41.6)	146 (4.8)	3,062 (100.0)
	実 績	1,472 (54.4)	1,073 (39.6)	163 (6.0)	2,708 (100.0)
	計画比	(89.7)	(84.2)	(111.6)	(88.4)

※「実績」は各月平均値。各年度の上段の数値は人数で、下段の()書き数値は構成率(%)、
26年度は3月利用(4月審査)の一月分

サービス未利用者数

(単位：人)

区 分		平成24年度	25年度	26年度
サービス 未利用者	計 画	2,924	2,790	2,623
	実 績	3,128	3,419	3,330
	計画比	107.0	122.5	127.0

(介護予防) 特定施設入居者生活介護サービス利用者数(再掲)

(単位：人)

区 分	平成24年度	25年度	26年度
特定施設入居者 生 活 介 護	685 (48)	677 (49)	672 (46)

※「実績」は各月平均値。上段の数値は総数、下段の()書き数値は予防給付利用者数
26年度は3月利用(4月審査)の一月分

地域密着型サービス利用者数（再掲）

（単位：人）

区 分	平成 24 年度	25 年度	26 年度
夜 間 対 応 型 訪 問 介 護	181	148	149
認 知 症 対 応 型 通 所 介 護	276 (1)	274 (2)	268 (1)
小 規 模 多 機 能 型 居 宅 介 護	261 (17)	260 (18)	277 (19)
認 知 症 対 応 型 共 同 生 活 介 護	814 (1)	817 (2)	827 (2)
地 域 密 着 型 特 定 施 設 入 居 者 生 活 介 護	—	—	—
定 期 巡 回 ・ 随 時 対 応 型 訪 問 介 護 看 護	0	0	3
複 合 型 サ ー ビ ス	0	6	17
地 域 密 着 型 介 護 老 人 福 祉 施 設 入 所 者 生 活 介 護	—	—	—

※「実績」は各月平均値。上段の数値は総数、下段の（）書き数値は予防給付利用

26 年度は 3 月利用（4 月審査）の一月分

ウ 給付実績

(7) 保険給付（法定給付）

訪問介護をはじめとする在宅サービスの平成 25(2013)年度の給付実績は、介護給付、予防給付ともに、一部のサービスを除き、前年度を上回っています。施設サービスの平成 25 年度の給付実績は、介護老人福祉施設の整備の進展等に伴い、平成 24(2012)年度を上回っています。

今後とも、利用実績やサービス利用者の利用意向等を参考に、サービス量を適正に見込む必要があります。

在宅サービス（地域密着型サービスを除く）介護給付実績

区 分		平成 24 年度	25 年度	前年度比 (%)
訪 問 介 護	計 画 (回/年) A	646,320	685,332	106.0
	実 績 (回/年) B	625,113	665,356	106.4
	計 画 比 (%) B/A	96.7	97.1	—
訪 問 入 浴 介 護	計 画 (回/年) A	12,121	13,526	111.6
	実 績 (回/年) B	11,924	12,173	102.1
	計 画 比 (%) B/A	98.4	90.0	—
訪 問 看 護	計 画 (回/年) A	35,839	37,645	105.0
	実 績 (回/年) B	41,709	48,904	117.3
	計 画 比 (%) B/A	116.4	129.9	—
訪 問 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	計 画 (日/年) A	15,307	17,684	115.5
	実 績 (日/年) B	13,969	13,835	99.0
	計 画 比 (%) B/A	91.3	78.2	—
居 宅 療 養 管 理 指 導	計 画 (人/年) A	15,204	16,452	108.2
	実 績 (人/年) B	16,260	20,368	125.3
	計 画 比 (%) B/A	106.9	123.8	—
通 所 介 護	計 画 (回/年) A	576,830	610,843	105.9
	実 績 (回/年) B	589,316	641,545	108.9
	計 画 比 (%) B/A	102.2	105.0	—
通 所 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	計 画 (回/年) A	195,839	210,846	107.7
	実 績 (回/年) B	200,613	213,150	106.2
	計 画 比 (%) B/A	102.4	101.1	—
短 期 入 所	計 画 (日/年) A	234,654	240,542	102.5
	実 績 (日/年) B	243,039	285,964	117.7
	計 画 比 (%) B/A	103.6	118.9	—
福 祉 用 具 貸 与	計 画 (人/年) A	60,324	67,141	111.3
	実 績 (人/年) B	63,917	67,844	106.1
	計 画 比 (%) B/A	106.0	101.0	—
福 祉 用 具 購 入 費	計 画 (人/年) A	1,644	1,860	113.1
	実 績 (人/年) B	1,658	1,505	90.8
	計 画 比 (%) B/A	100.9	80.9	—
住 宅 改 修 費	計 画 (人/年) A	1,368	1,500	109.6
	実 績 (人/年) B	1,333	1,210	90.8
	計 画 比 (%) B/A	97.4	80.7	—
居 宅 介 護 支 援	計 画 (人/年) A	115,428	121,356	105.1
	実 績 (人/年) B	117,883	122,655	104.0
	計 画 比 (%) B/A	102.1	101.1	—
特 定 施 設 入 居 者 生 活 介 護	計 画 (人/年) A	7,452	7,464	100.2
	実 績 (人/年) B	7,639	7,524	98.5
	計 画 比 (%) B/A	102.5	100.8	—

予防給付実績

区 分		平成 24 年度	25 年度	前年度比 (%)
訪 問 介 護	計 画 (人/年) A	15,636	16,740	107.1
	実 績 (人/年) B	15,512	16,086	103.7
	計 画 比 (%) B/A	99.2	96.1	—
訪 問 入 浴 介 護	計 画 (回/年) A	2	2	100.0
	実 績 (回/年) B	26	4	15.4
	計 画 比 (%) B/A	1,300.0	200.0	—
訪 問 看 護	計 画 (回/年) A	503	534	106.2
	実 績 (回/年) B	341	875	256.6
	計 画 比 (%) B/A	67.8	163.9	—
訪 問 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	計 画 (日/年) A	406	426	104.9
	実 績 (日/年) B	300	404	134.7
	計 画 比 (%) B/A	73.9	94.8	—
居 宅 療 養 管 理 指 導	計 画 (人/年) A	312	324	103.8
	実 績 (人/年) B	235	402	171.1
	計 画 比 (%) B/A	75.3	124.1	—
通 所 介 護	計 画 (人/年) A	21,843	23,328	106.8
	実 績 (人/年) B	22,012	24,047	109.2
	計 画 比 (%) B/A	100.8	103.1	—
通 所 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	計 画 (人/年) A	6,540	7,059	107.9
	実 績 (人/年) B	6,462	6,983	108.1
	計 画 比 (%) B/A	98.8	98.9	—
短 期 入 所	計 画 (日/年) A	593	630	106.2
	実 績 (日/年) B	596	861	144.5
	計 画 比 (%) B/A	100.5	136.7	—
福 祉 用 具 貸 与	計 画 (人/年) A	7,884	8,048	102.1
	実 績 (人/年) B	8,825	10,903	123.5
	計 画 比 (%) B/A	111.9	135.5	—
福 祉 用 具 購 入 費	計 画 (人/年) A	456	504	110.5
	実 績 (人/年) B	495	495	100.0
	計 画 比 (%) B/A	108.6	98.2	—
住 宅 改 修 費	計 画 (人/年) A	636	732	115.1
	実 績 (人/年) B	611	601	98.4
	計 画 比 (%) B/A	96.1	82.1	—
居 宅 介 護 支 援	計 画 (人/年) A	40,860	43,356	106.1
	実 績 (人/年) B	41,457	44,522	107.4
	計 画 比 (%) B/A	101.5	102.7	—
特 定 施 設 入 居 者 生 活 介 護	計 画 (人/年) A	552	552	100.0
	実 績 (人/年) B	576	599	104.0
	計 画 比 (%) B/A	104.3	108.5	—

地域密着型サービス介護給付実績

区 分		平成 24 年度	25 年度	前年度比 (%)
夜間対応型 訪問介護	計画 (人/年)A	1,710	1,908	111.6
	実績 (人/年)B	2,177	1,778	81.7
	計画比 (%)B/A	127.3	93.2	—
認知症対応型 通所介護	計画 (人/年)A	38,446	42,788	111.3
	実績 (人/年)B	36,940	35,765	96.8
	計画比 (%)B/A	94.9	83.6	—
小規模多機能型 居宅介護	計画 (人/年)A	3,302	3,665	111.0
	実績 (人/年)B	2,924	2,908	99.5
	計画比 (%)B/A	88.6	79.3	—
認知症対応型 共同生活介護	計画 (人/年)A	9,792	9,984	102.0
	実績 (人/年)B	9,750	9,782	100.3
	計画比 (%)B/A	99.6	98.0	—
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	計画 (人/年)A	600	600	100.0
	実績 (人/年)B	0	0	0
	計画比 (%)B/A	0	0	—
複合型サービス	計画 (人/年)A	300	300	100.0
	実績 (人/年)B	0	77	—
	計画比 (%)B/A	0	25.7	—

予防給付実績

区 分		平成 24 年度	25 年度	前年度比 (%)
認知症対応型 通所介護	計画 (回/年)A	20	20	100.0
	実績 (回/年)B	45	117	260
	計画比 (%)B/A	225.0	585	—
小規模多機能型 居宅介護	計画 (人/年)A	216	232	107.4
	実績 (人/年)B	202	213	105.4
	計画比 (%)B/A	93.5	91.8	—
認知症対応型 共同生活介護	計画 (人/年)A	24	24	100.0
	実績 (人/年)B	18	27	150
	計画比 (%)B/A	75.0	112.5	—

施設サービス実績

区 分		平成 24 年度	25 年度	前年度比 (%)
介護老人福祉施設	計画 (日/年)A	556,990	578,160	103.8
	実績 (日/年)B	525,657	542,705	103.2
	計画比(%)B/A	94.4	93.9	—
介護老人保健施設	計画 (日/年)A	406,245	439,095	108.1
	実績 (日/年)B	369,201	378,786	102.6
	計画比(%)B/A	90.9	86.3	—
介護療養型 医療施設	計画 (日/年)A	67,890	52,925	78.0
	実績 (日/年)B	63,964	68,925	107.8
	計画比(%)B/A	94.2	130.2	—
施設サービス合計	計画 (日/年)A	1,031,125	1,070,180	103.8
	実績 (日/年)B	958,822	990,416	103.3
	計画比(%)B/A	93.0	92.5	—

(イ) 事業費

居宅サービス等事業費については、計画比では平成 24(2012)年度 105.4%、平成 25(2013)年度 105.8%となっており、計画を上回っています。

地域密着型サービス事業費については、計画比では平成 24 年度 93.4%、平成 25 年度 89.3%となっています。平成 24 年度、平成 25 年度ともに、複合型サービス等、新サービスの整備が進行中であることなどにより、利用者数が計画を下回ったため、事業費も計画を下回っています。

施設サービス事業費については、利用者数が計画を下回ったため、事業費も計画を下回り、計画比が平成 24 年度 92.8%、平成 25 年度 90.4%となっています。

事業費の合計では平成 24 年度 100.1%、平成 25 年度 99.1%となっており、平成 24 年度はほぼ計画どおりに推移していますが、平成 25 年度は計画をやや下回っています。

今後とも、サービス見込量をもとに、事業費を適正に見込む必要があります。

平成 24 年度（事業費）

(単位：千円)

区 分	計画 A	実績 B	増減 B-A	計画比 B/A (%)	
居 宅 サ ー ビ ス 等	16,253,368	17,136,939	883,571	105.4	
地 域 密 着 型 サ ー ビ ス	3,792,650	3,543,785	△248,865	93.4	
施 設 サ ー ビ ス	介護老人福祉施設	4,583,062	4,215,773	△367,289	92.0
	介護老人保健施設	3,502,665	3,243,307	△259,358	92.6
	介護療養型医療施設	737,708	726,180	△ 11,528	98.4
	小 計	8,823,435	8,185,260	△638,175	92.8
特定入所者介護サービス	941,416	938,448	△ 2,968	99.7	
高 額 介 護 サ ー ビ ス	580,076	600,268	20,192	103.5	
審 査 支 払 手 数 料	42,573	44,546	1,973	104.6	
合 計	30,433,518	30,449,246	15,728	100.1	

平成 25 年度（事業費）

（単位：千円）

区 分		計画 A	実績 B	増減 B-A	計画比 B/A (%)
居 宅 サ ー ビ ス 等		17,185,052	18,183,783	998,731	105.8
地 域 密 着 型 サ ー ビ ス		3,979,739	3,554,605	△425,134	89.3
施 設 サ ー ビ ス	介 護 老 人 福 祉 施 設	4,765,566	4,305,768	△459,798	90.4
	介 護 老 人 保 健 施 設	3,794,884	3,307,976	△486,908	87.2
	介 護 療 養 型 医 療 施 設	575,174	649,192	74,018	112.9
	小 計	9,135,624	8,262,936	△872,688	90.4
特 定 入 所 者 介 護 サ ー ビ ス		988,079	995,330	7,251	100.7
高 額 介 護 サ ー ビ ス		608,828	625,586	16,758	102.8
審 査 支 払 手 数 料		44,684	47,129	2,445	105.5
合 計		31,942,006	31,669,369	△272,637	99.1

(ウ) 在宅サービスの平均利用額

在宅サービスの1人当たり平均利用額は、平成24(2012)年度は98,765円、平成25(2013)年度は100,274円と上昇しており、1人当たりのサービス利用は1.5%増加しています。

在宅サービスの1人当たり平均利用額

(単位：円、%)

区 分	平成24年度		25年度		利用限度額
	計 画	実 績	計 画	実 績	
要支援1	24,517 (49.3)	23,117 (46.5)	24,946 (50.2)	23,163 (46.6)	49,700
要支援2	43,056 (41.4)	41,151 (39.6)	43,218 (41.6)	41,448 (39.9)	104,000
要介護1	68,398 (41.3)	65,454 (39.5)	68,801 (41.5)	67,450 (40.7)	165,800
要介護2	93,724 (48.1)	93,879 (48.2)	94,565 (48.5)	97,170 (49.9)	194,800
要介護3	167,647 (62.7)	162,239 (60.7)	168,194 (62.9)	168,402 (63.0)	267,500
要介護4	204,282 (66.8)	199,588 (65.2)	207,083 (67.7)	204,581 (66.9)	306,000
要介護5	234,425 (65.4)	246,397 (68.9)	246,544 (68.8)	251,283 (70.1)	358,300
平 均	99,540 (53.1)	98,765 (52.4)	100,788 (53.8)	100,274 (53.7)	

※区分ごとの上段の数値は平均利用額(円)、下段()書き数値は利用限度額比(%)

エ サービス事業者の指定状況

サービス事業者の指定については、第5期計画(平成24(2012)年度～26(2014)年度)に基づき、平成24年度に複合型サービス2事業者と定期巡回・随時対応型訪問介護看護2事業者を選定(うち1事業者が辞退)し、同年度にこのうちの複合型サービス1事業者がサービスを開始しました。

また、平成25年度に、残る複合型サービス1事業者と定期巡回・随時対応型訪問介護看護1事業者がサービスを開始しました。

平成25年度の選定は、特定施設入居者生活介護1事業者、定期巡回・随時対応型訪問介護看護1事業者と、認知症対応型共同生活介護2事業者であり、このうち、特定施設入居者生活介護事業者については平成26(2014)年度からサービスを開始しています。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護1事業者と、認知症対応型共同生活介護2事業者の整備が終了し、サービスが開始される予定の平成26年度末には、第5期計画で計画した整備を達成することになります。

サービス事業者の指定状況

区 分		平成 24 年		25 年		26 年	
		3 月 31 日現在		3 月 31 日現在		3 月 31 日現在	
		介 護	予 防	介 護	予 防	介 護	予 防
在宅サービス	訪 問 介 護	125	108	132	114	141	125
	訪 問 入 浴 介 護	5	4	4	3	4	2
	訪 問 看 護	みなし指定	みなし指定	みなし指定	みなし指定	みなし指定	みなし指定
	訪問看護ステーション	18	17	19	18	22	20
	訪問リハビリテーション	みなし指定	みなし指定	みなし指定	みなし指定	みなし指定	みなし指定
	居宅療養管理指導	みなし指定	みなし指定	みなし指定	みなし指定	みなし指定	みなし指定
	通 所 介 護	127 (3,174)	117	146 (3,459)	138	164 (3,871)	152
	通所リハビリテーション (老人保健施設含む)	32 (1,065)	31	37 (1,275)	37	35 (1,330)	35
	短期入所生活介護	35 (707)	31	43 (814)	40	45 (938)	40
	短期入所療養介護	31	30	31	30	31	30
	特 定 施 設 入居者生活介護	21 (816)	18	21 (816)	18	21 (816)	18
	福 祉 用 具 貸 与 居 宅 介 護 支 援	52 140	49	48 146	47	48 148	49
	地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型 訪 問 介 護 看 護	—		—		1
認 知 症 対 応 型 共 同 生 活 介 護		43 (837)	43	43 (837)	43	43 (837)	43
認 知 症 対 応 型 通 所 介 護		17 (197)	17	17 (197)	17	17 (197)	17
夜間対応型訪問介護		2		1		1	
小規模多機能型 居 宅 介 護		14 (348)	12	14 (348)	12	14 (348)	12
複 合 型 サ ー ビ ス		— (—)	—	1 (25)	—	2 (50)	—
施設サービス	介護老人福祉施設	26 (1,467)		26 (1,527)		26 (1,527)	
	介護老人保健施設	18 (1,239)		19 (1,260)		19 (1,275)	
	介護療養型医療施設	12 (243)		11 (201)		10 (195)	
市 内 事 業 者 数 合 計		718	477	758	517	792	543

※在宅サービスの上段はサービス事業者数、下段は定員数

※施設サービスの上段は施設数、下段は定員数

オ 介護予防事業

(7) 介護予防一次予防事業施策

元気な高齢者（一次予防事業対象者）が健康で生き生きとした生活を送ることができるよう、介護予防に資する基本的な知識の普及啓発を図ります。

介護予防普及啓発事業

区 分		平成 24 年度	25 年度	前年度比 (%)
65 歳からの元氣いきいき教室 (一次予防事業)	実施回数(回)	94	97	103.2
	延べ参加人数(人)	1,546	1,824	118.0
はっらっ介護予防教室 (継続教室) ※	実施回数(回)	763	980	128.4
	延べ参加人数(人)	9,375	13,248	141.3
腰痛・膝関節痛・ 転倒骨折予防講座	実施回数(回)	13	17	130.8
	延べ参加人数(人)	229	453	197.8
高齢者対象の 健康教育	実施回数(回)	522	447	85.6
	延べ参加人数(人)	12,805	12,387	96.7
高齢者対象の訪問指導	延べ訪問人数(人)	871	1,172	134.6
認知症予防教室	実施回数(回)	29	29	100.0
	延べ参加人数(人)	612	660	107.8
認知症予防講演会	実施回数(回)	2	2	100.0
	延べ参加人数(人)	108	103	95.4

※二次予防事業「はっらっ介護予防教室」終了時、判定結果が「維持」の人に実施している。

元気を広げる人の養成及び介護予防ボランティア活動の状況

区 分		平成 24 年度	25 年度	前年度比 (%)
元気を広げる人の 養成講座	受講者数(人)	0	68	—
	延べ受講者数(人)	0	313	—
	修了者数(人)	0	66	—
	延べ修了者数(人)	527	593	112.5
元気を広げる人 フォローアップ事業	実施回数(数)	17	27	158.8
	実施地区(数)	12	38	316.7
元気を広げる人の介護予防 ボランティア活動の状況	実施回数(回)	990	1,091	110.2
	延べ実施人数(人)	21,868	26,445	120.9
のびのび元氣体操普及	実施回数(回)	514	688	133.9
	延べ実施人数(人)	10,623	15,718	148.0

介護予防自主グループ活動の状況

区 分	平成 24 年度	25 年度	前年度比 (%)
運動主体の自主グループ(数)	25	25	100.0
認知症予防目的の自主グループ(数)	13	12	92.3

(イ) 介護予防二次予防事業施策

a 二次予防事業対象者把握事業

保健・医療・福祉など関係機関と連携し、要介護状態等となるおそれの高い状態にあると認められる者（二次予防事業対象者）を把握します。

二次予防事業対象者把握状況

区 分		平成 24 年度	25 年度	前年度比 (%)
人口	(人)	426,707	427,195	100.1
高齢者人口	(人)	101,632	106,124	104.4
高齢化率	(%)	23.8	24.8	104.2
長寿はつらつ健診の対象者数	(人)	77,981	81,014	103.9
高齢者人口に占める割合	(%)	76.7	76.3	99.5
基本チェックリスト回答者数	(人)	41,954	42,873	102.2
高齢者人口に占める割合	(%)	41.3	40.4	97.8
再掲	長寿はつらつ健診受診者数(人)	30,648	31,114	101.5
	健診未受診者に対する基本チェックリスト回答者数 (人)	11,306	11,747	103.9
二次予防事業対象者決定者数	(人)	11,005	10,755	97.7
高齢者人口に占める割合	(%)	10.8	10.1	93.5
二次予防事業「はつらつ介護予防教室」プラン作成者数	(人)	1,846	1,514	82.0

※人口は、各年度3月31日現在の住民基本台帳による

※二次予防事業「はつらつ介護予防教室」プラン作成者数は、平成26年3月31日現在の数であり、7月教室分と直営教室分は含んでいない。

参考：「二次予防事業対象者」：主として要介護状態等となるおそれの高い状態にある高齢者

「一次予防事業対象者」：主として活動的な状態にある高齢者

b はつらつ介護予防教室（通所型介護予防事業）

二次予防事業対象者に対し、「はつらつ介護予防教室（通所型介護予防教室）」により、心身の状況等を踏まえて、運動器の機能向上プログラム、栄養改善プログラム、口腔機能の向上プログラム、認知症予防支援、うつ予防支援、閉じこもり予防支援を行います。さらに、「はつらつ介護予防教室」終了後も、引き続き、継続した教室への参加が望ましい人には、「はつらつ介護予防教室継続教室」への参加を促し、継続的に介護予防ができるように支援します。

はつらつ介護予防教室

区 分		平成 24 年度	25 年度	前年度比 (%)
運 動 器 の 機 能 向 上	実施箇所数(箇所)	50	57	114.0
	実施回数(回)	1,740	1,906	109.5
	参加実人数(人)	1,693	1,783	105.3
	参加延人数(人)	17,092	17,680	103.4
栄 養 改 善	実施箇所数(箇所)	22	24	109.1
	実施回数(回)	248	225	90.7
	参加実人数(人)	67	63	94.0
	参加延人数(人)	352	313	88.9
口 腔 機 能 向 上	実施箇所数(箇所)	41	47	114.6
	実施回数(回)	729	829	113.7
	参加実人数(人)	661	762	115.3
	参加延人数(人)	3,477	3,966	114.1
そ の 他	実施箇所数(箇所)	51	58	113.7
	実施回数(回)	1,764	1,834	103.7
	参加実人数(人)	1,038	1,002	96.5
	参加延人数(人)	10,003	9,574	95.7

はつらつ介護予防教室継続教室

区 分		平成 24 年度	25 年度	前年度比 (%)
は つ ら つ 介 護 予 防 教 室 継 続 教 室	実施箇所数(箇所)	40	53	132.5
	実施回数(回)	763	980	128.4
	参加実人数(人)	822	1,095	133.2
	参加延人数(人)	9,375	13,248	141.3

※ 「はつらつ介護予防教室」終了時、判定結果が引き続き二次予防事業対象者となった人に実施している。

はつらつ介護予防教室と継続教室の参加者・非参加者の要支援・要介護認定率

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

平成 24 年度実施の長寿はつらつ健診受診者で、はつらつ介護予防教室の参加者の要支援・要介護認定率は、非参加者より 1.7 ポイント低くなっています。またその参加者が継続して参加している、平成 25 年度はつらつ介護予防教室（継続教室）の参加者は、非参加者より 9.2 ポイント低くなっています。

平成 24 年度 はつらつ介護予防教室

区 分	人 数	要支援・要介護	
		認定者数 (人)	認定率 (%)
参 加	1,783	146	8.2
非 参 加	9,222	911	9.9

平成 25 年度 はつらつ介護予防教室（継続教室）

区 分	人 数	要支援・要介護	
		認定者数 (人)	認定率 (%)
参 加	1,027	44	4.3
非 参 加	756	102	13.5

c 訪問型介護予防事業

通所形態による事業への参加が困難な人は、居宅を訪問して生活機能を総合的に把握・評価し、相談・指導を行う訪問型介護予防事業を行います。

訪問型介護予防事業

単位：回、(人)

区 分	平成 24 年度	25 年度	前年度比 (%)
運 動 器 の 機 能 向 上	0	3 (1)	—
栄 養 改 善	0	0 (0)	—
口 腔 機 能 向 上	0	0 (0)	—
閉じこもり予防・支援	0	3 (1)	—
認知症予防・支援	0	3 (1)	—
うつ予防・支援	0	3 (1)	—

※25 年度 () 内は実人員数

d 事業評価

二次予防事業について、本市独自の評価を実施するため、介護予防評価ワーキンググループを組織します。介護予防の効果と費用対効果を科学的根拠に基づき明らかにすることを通じて、効果的で効率的な介護予防システムの構築に向けた取り組みを行います。

区 分	平成 24 年度	25 年度
実 施 回 数 (回)	1	1
参 加 人 数 (人)	16	14

(ウ) 三次予防の推進（予防給付事業）介護予防ケアマネジメント

介護保険で「要支援1」「要支援2」と認定された人への介護予防サービス計画（介護予防ケアプラン）の作成や、サービス利用後の効果を評価しています。

「要支援1」「要支援2」の認定者数の増加とともに、ケアマネジメント件数についても年々増加しています。また、サービス利用者の維持改善率は、平成24年度から25年度にかけて0.1%増加し、自立支援に向けた介護予防マネジメントにより、必要な介護予防サービスを提供することで、心身の状態の維持改善に努めることができます。

「要支援1」「要支援2」への介護予防ケアマネジメント

区 分	平成24年度	25年度	前年度比 (%)
利用契約件数 (件)	41,879	45,023	107.5

「要支援1」「要支援2」のサービス利用後の維持改善率

区分	平成24年度			25年度		
	要支援1、2で給付管理を行った数 A (人)	維持・改善者数 B (人)	維持改善率 B/A (%)	要支援1、2で給付管理を行った数 A (人)	維持・改善者数 B (人)	維持改善率 B/A (%)
項目	3,889	3,345	86.0	3,451	2,972	86.1

※25年度は、平成26年1月末現在

カ 包括的支援事業

(7) 介護予防ケアマネジメント

二次予防事業対象者を対象として、要介護状態となることを予防し、はつらつ介護予防教室への参加者の増加を図るために、円滑かつ効果的にケアマネジメントを行います。

二次予防事業対象者の介護予防ケアマネジメント

区 分	平成 24 年度	25 年度	前年度比 (%)
計 画 作 成 数 (件)	1,846	1,514	82.0

※25年度の事業は26年1月～9月実施。介護予防ケアマネジメント数は、平成26年3月31日現在の評価作成数

(イ) 総合相談支援

高齢者が住み慣れた地域で安心して、その人らしい生活を継続していくことができるようにするため、介護保険に関するだけでなく、高齢者の様々な相談に応じています。

地域における関係者等とのネットワークの構築により、高齢者の心身の状況や生活の実態、必要な支援等を把握し、適切な保健・医療・福祉・介護サービスの機関又は制度の利用につなげる等の支援を行っています。

また、平成21(2009)年度より、市内28か所の老人介護支援センターを窓口(ブランチ)として委託し、緊密な連携や対応を行っています。

相談者や相談機関、相談内容、相談状況は多種多様ですが、特に健康・医療・介護予防に関する相談件数が増加しています。

総合相談支援

区 分		平成 24 年度	25 年度	前年度比 (%)
総 合 相 談 支 援	件 数 (件)	13,855(5,310)	16,125 (4,939)	116.4
	実人数(人)	8,251(4,017)	9,124 (3,758)	110.6

総合相談支援 (内訳)

区 分	平成 24 年度	25 年度	前年度比 (%)
介 護 保 険 (件)	7,640(3,111)	8,884 (2,803)	116.3
介護(介護保険以外) (件)	2,476(1,544)	2,503 (1,355)	101.1
介 護 予 防 (件)	766(321)	1,089 (267)	142.2
健 康 (件)	286(101)	578 (191)	202.1
医 療 (件)	474(47)	652 (72)	137.6
認 知 症 (件)	1,373(68)	1,408 (64)	102.5
そ の 他 (件)	840(118)	1,011 (187)	120.4
合 計 (件)	13,855(5,310)	16,125 (4,939)	116.4

※()内は老人介護支援センター対応分を再掲

(ウ) 権利擁護

高齢者虐待の防止や早期発見、成年後見制度・日常生活自立支援事業の活用に向けての情報提供など、高齢者の人権や財産などを守るための支援を行っています。

高齢者虐待についての相談は、件数、実人数ともに増加しています。高齢者の身近な相談機関として、今後とも高齢者の人権や財産などを守り、安心して生活ができるための支援を継続する必要があります。

また、本市が受けた成年後見制度申立てに関する相談や支援は増加しており、市長申立て及びその他の申立てについて、必要な人に、適時適切な支援を行っています。

権利擁護に関する相談

区 分		平成 24 年度	25 年度	前年度比 (%)
高 齢 者 虐 待	件 数 (件)	688	773	112.4
	実人数 (人)	70	82	117.1
成 年 後 見 制 度	件 数 (件)	531	538	101.3
	実人数 (人)	185	164	88.6
日常生活自立支援事業	件 数 (件)	205	178	86.8
	実人数 (人)	69	51	73.9

成年後見制度申立て

区 分	平成 24 年度	25 年度	前年度比 (%)
市 長 申 立 て (件)	14	6	42.9
その他の申立て (本人・親族) (件) (相談含む)	16	59	491.7
合 計 (件)	30	65	250.0

(エ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域における関係機関との連携体制構築や介護支援専門員同士のネットワークの構築、介護支援専門員が抱える支援困難事例等への助言などを行っています。

介護支援専門員情報交換会に加え、平成 22 (2010) 年度から、高松市指定居宅介護支援事業者連絡協議会を通じて、事業者への支援・助言など連携強化を図りました。

さらに、年々増加している居宅介護支援事業所の介護支援専門員からの相談に対して、平成 25 (2013) 年度より「ケアマネ相談日」をサブセンター毎に定例で設け、相談体制の整備を行いました。

介護支援専門員からの相談に対する支援

区 分		平成 24 年度	25 年度	前年度比 (%)
介護支援専門員からの相談	件 数 (件)	943	1,376	145.9
	実 人 数 (人)	477	675	141.5

(オ) 老人介護支援センターとの連携

住民の利便性を考慮して、地域包括支援センターの窓口（ブランチ）である、老人介護支援センターと協力、連携し、地域の身近な相談窓口として、在宅介護等に関する相談や、介護・保健福祉サービスの情報提供、利用申請代行等の業務を行いました。

また、各地区高齢者支援連携会議（地域ケア小会議）を開催し、老人介護支援センターからも事例提供することで情報共有や意見交換し、より身近な生活圏域で様々な機関や団体が連携し、協力体制を取り、地域のネットワーク構築を図りました。

区 分		平成 24 年度	25 年度	前年度比 (%)
老人介護支援センターの連絡会	回 数 (回)	3	4	133.3
	人 数 (人)	141	188	133.3

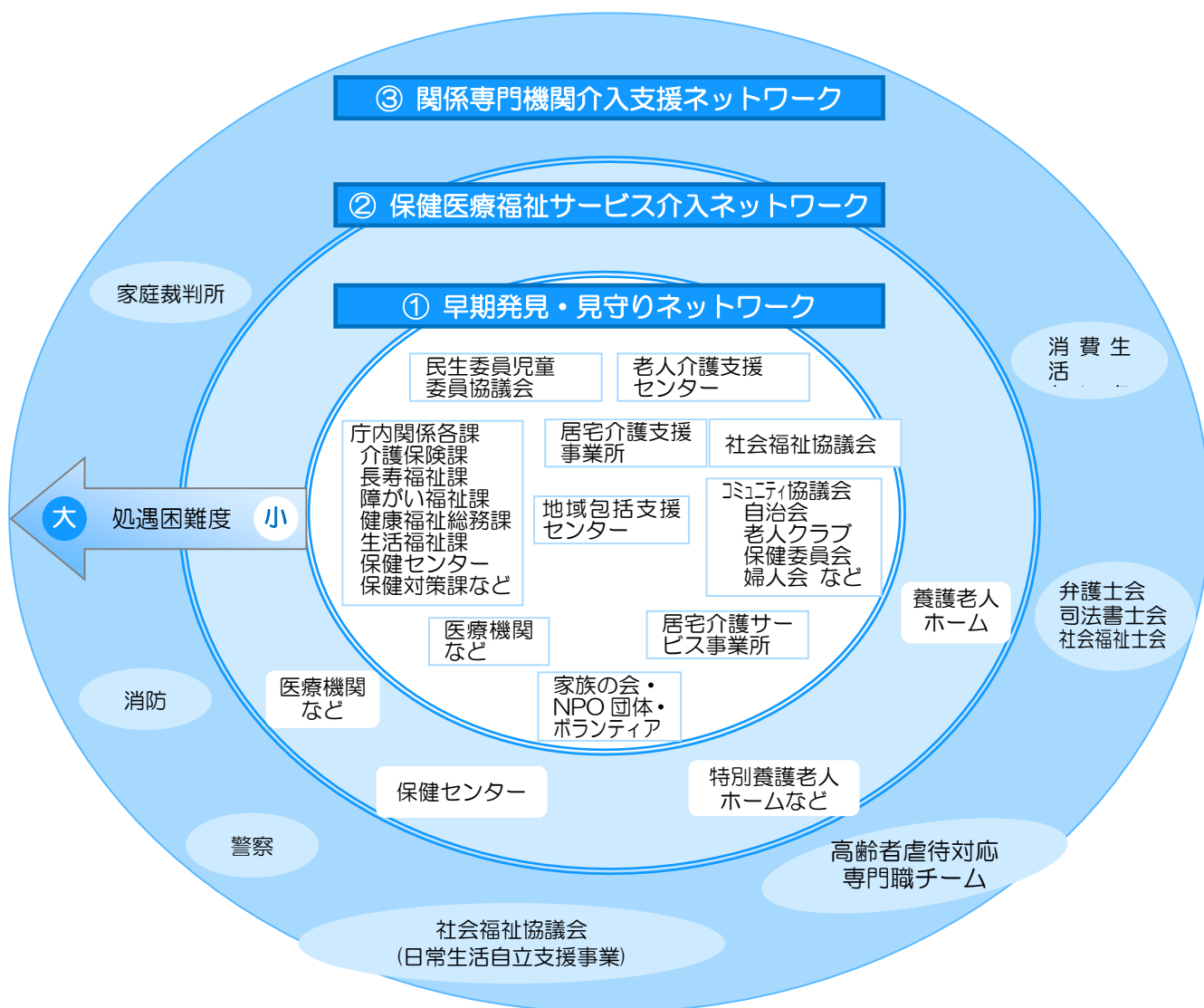
(カ) 地域のネットワークの構築

介護予防事業の効果的な実施をはじめ、高齢者等が住み慣れた地域で必要とする適切なサービスが総合的に利用できるよう、地域における関係機関との連携体制構築や、介護支援専門員同士のネットワークの構築、介護支援専門員が抱える支援困難事例等への助言などを行い、地域のネットワークの構築を図りました。

また、地域の支援者や行政職員等が日常生活の様々な問題を抱える高齢者の具体的な支援内容を検討し、課題解決を支援するとともに、その積み重ねを通し、多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築を図るために、コミュニティ単位の各地区高齢者支援連携会議（地域ケア小会議）を開催しました。

関係機関との連携状況

区 分		平成 24 年度	25 年度		
地域	地区民生委員児童委員との連絡会	回数(回)	43	48	
		人数(人)	876	960	
	民連理事会・民連ブロック別研修会	回数(回)	12	12	
介護保険関連	地域密着型運営推進会議	回数(回)	289	275	
	介護支援専門員等との情報交換会	回数(回)	6	6	
		人数(人)	457	495	
	居宅介護支援事業者等との合同会議	回数(回)	14	12	
	通所介護事業所との合同会議	回数(回)	10	10	
多職種連携	処遇困難事例に関する医療機関との連携	回数(回)	267	282	
	事例検討会	回数(回)	8	—	
	地域ケア会議	各地区高齢者支援連携会議(個別課題)	回数(回)	4	35
		各地区高齢者支援連携会議(地域課題)	回数(回)	6	9
		高齢者支援連携会議(全体会議)	回数(回)	—	1



① 早期発見・見守りネットワーク

より身近な地域での日常的な見守りや地域からの孤立を予防する。

② 保健医療福祉サービス介入ネットワーク

介護保険サービス等が必要な場合に、早期発見・見守りネットワークに加えて、保健医療福祉サービスへの的確かつ迅速につなぐことにより継続支援を行う。

③ 関係専門機関介入支援ネットワーク

さらに、より専門的な対応が必要な場合については、保健医療福祉サービス介入ネットワークに加えて専門機関や専門家等の介入支援を行う。

(キ) ケアマネジメント力の向上

老人介護支援センターや介護支援専門員等関係者が参加する各地区高齢者支援連携会議（地域ケア会議）の実施により、関係機関や事業者等の連携によるケアマネジメント力の向上とサービスの質の確保を図りました。

キ 任意事業

(7) 介護給付等費用適正化事業

介護給付適正化事業の主要5事業である「認定調査チェック」、「ケアプランチェック」、「住宅改修等の点検」、「国民健康保険団体連合会の介護給付適正化システムの縦覧点検表による請求内容のチェック」、「介護給付費通知」を実施することにより、サービス事業者の介護報酬請求の適正化を推進しました。

区 分	平成 24 年度	25 年度	前年度比 (%)
認 定 調 査 チ ェ ッ ク (件)	23,760	24,087	101.4
ケ ア プ ラ ン チ ェ ッ ク (件)	139	238	171.2
住 宅 改 修 等 の 点 検 (件)	1,944	1,811	93.2
縦覧点検(軽度者の福祉用具貸与) (件)	593	1,139	192.1
介 護 給 付 費 通 知 (件)	56,315	58,574	104.0

(イ) 認知症高齢者見守り事業

徘徊高齢者家族支援サービス事業

区 分	平成 24 年度	25 年度	前年度比 (%)
助 成 件 数 (件)	5	8	160
登 録 人 数 (人)	11	15	136.4

(ウ) 成年後見制度利用支援事業

認知症等によって判断能力の低下が見られる高齢者で、適切な介護サービスの利用や金銭的管理、法的行為などの支援が必要な場合、成年後見制度の利用につなげました。

また、家族がない等の理由で審判の申立てを本市が代わって行ったケースの中で、経済的理由で申立て経費や成年後見人等の報酬が払えない場合に、費用の全部又は一部を助成しました。

市長申立て状況

区 分	平成 24 年度	25 年度	前年度比 (%)
市 長 申 立 て (件)	14	6	42.9
市長申立ての内申立に要する経費助成 (件)	4	2	50.0
成年後見人等の報酬に係る経費助成 (件)	2	1	50.0

(イ) 住宅改修支援事業

介護保険サービスにおける住宅改修費の支給申請に係る理由書を作成した居宅介護支援事業者等に対して、補助金を交付しました。

区 分	平成 24 年度	25 年度	前年度比 (%)
交付件数 (件)	54	50	92.6

(オ) 地域自立生活支援事業

高齢者住宅等安心確保事業 (シルバーハウジング)

(平成 26 年 4 月 1 日現在)

住宅名	戸数	入居戸数	入居者数	生活援助員 の派遣人数	生活援助員 の派遣形態
県営住宅高松元山団地	28 戸	25 戸	28 人	1 人	居住
市営住宅旭ヶ丘団地	27 戸	24 戸	33 人	1 人	居住
市営住宅香西本町団地	22 戸	18 戸	23 人	1 人	居住
市営住宅川東団地	12 戸	11 戸	12 人	1 人	派遣
合 計	89 戸	78 戸	96 人	4 人	

地域支援事業の事業量

平成 24 年度

(単位：千円、%)

区 分		計画 A	実績 B	増減 B-A	計画比 B/A
介 護 予 防 事 業	介護予防二次予防事業対象者施策	353,523	232,345	△ 121,178	65.7
	二次予防事業対象者把握事業	238,129	140,971	△ 97,158	59.2
	通所型介護予防事業	112,980	89,561	△ 23,419	79.3
	訪問型介護予防事業	2,190	1,734	△ 456	79.2
	二次予防事業評価事業	224	79	△ 145	35.3
	介護予防一次予防事業対象者施策	53,219	32,985	△ 20,234	62.0
	介護予防普及啓発事業	51,165	31,429	△ 19,736	61.4
	地域介護予防活動支援事業	734	236	△ 498	32.2
	一次予防事業評価事業	1,320	1,320	0	100.0
小 計		406,742	265,330	△ 141,412	65.2
支 援 事 業 的 包 括 的	介護予防ケアマネジメント事業	333,590	308,607	△ 24,983	92.5
	総合相談支援・権利擁護事業				
	包括的・継続的ケアマネジメント事業				
小 計					
任 意 事 業	介護給付等費用適正化事業	20,094	18,702	△ 1,392	93.1
	家族介護支援事業	115	57	△ 58	49.6
	認知症高齢者見守り事業	115	57	△ 58	49.6
	そ の 他 事 業	11,315	9,629	△ 1,686	85.1
	成年後見制度利用支援事業	1,919	269	△ 1,650	14.0
	地域自立生活支援事業	9,252	9,252	0	100.0
	住宅改修支援事業費	144	108	△ 36	75.0
小 計		31,524	28,388	△ 3,136	90.1
地 域 支 援 事 業 合 計		771,856	602,325	△ 169,531	78.0

平成 25 年度

(単位：千円、%)

区 分		計画 A	実績 B	増減 B-A	計画比 B/A
介 護 予 防 事 業	介護予防二次予防事業対象者施策	411,645	236,069	△175,576	57.3
	二次予防事業対象者把握事業	261,442	139,900	△121,542	53.5
	通所型介護予防事業	147,783	90,759	△57,024	61.4
	訪問型介護予防事業	2,196	2,208	12	100.5
	二次予防事業評価事業	224	3,202	2,978	1429.5
	介護予防一次予防事業対象者施策	55,619	34,933	△20,686	62.8
	介護予防普及啓発事業	53,525	33,370	△20,155	62.3
	地域介護予防活動支援事業	748	243	△505	32.5
	一次予防事業評価事業	1,346	1,320	△26	98.1
小 計		467,264	271,002	△196,262	58.0
支 援 事 業 的 包 括 的	介護予防ケアマネジメント事業	353,358	315,397	△37,961	89.3
	総合相談支援・権利擁護事業				
	包括的・継続的ケアマネジメント事業				
小 計					
任 意 事 業	介護給付等費用適正化事業	19,200	18,366	△834	95.7
	家族介護支援事業	115	92	△23	80.0
	認知症高齢者見守り事業	115	92	△23	80.0
	そ の 他 事 業	13,112	9,660	△3,452	73.7
	成年後見制度利用支援事業	3,716	306	△3,410	8.2
	地域自立生活支援事業	9,252	9,254	2	100.0
	住宅改修支援事業費	144	100	△44	69.4
小 計		32,427	28,118	△4,309	86.7
地 域 支 援 事 業 合 計		853,049	614,517	△238,532	72.0

(2) 高齢者保健福祉事業の取組

ア 生涯を通じた健康づくりの推進

(7) 「健やか高松21」の推進

高齢化の進展に伴い、平均寿命が伸びてはいるものの、がんや心臓病、脳血管疾患、糖尿病などの生活習慣病が増加しており、病気によって生活の質を低下させたり、介護が必要な状態を引き起こし、健康寿命を短くしています。こうした生活習慣病の発症には、普段の食生活や運動習慣などの生活習慣がかかわっていることから、病気を予防するための生活習慣の改善とこころ豊かに人生を送るための健康の保持・増進が重要です。

このため、市民一人ひとりが自らの健康的な生活習慣について考え、主体的に健康づくりに取り組むことができるよう、「こころの豊かさ」、「運動」、「食生活」、「歯の健康」、「安全」、「たばこ」、「アルコール」及び「生活習慣病」の8つの生活習慣について、健康づくりの実践目標等を設定した健康づくり推進プランの「健やか高松21」に基づき、生涯を通じた健康づくりを推進してきました。

平成26年3月には、「健やか高松21」の第2次計画である「高松市健康都市推進ビジョン」を策定しました。

本計画の基本方針は、健康を支え、守るための社会環境の整備を通じて、生活習慣の改善・生活習慣病の予防と重症化予防の徹底・ライフステージに応じた健康づくりの推進を図り、計画の目標である「健康寿命の延伸」と「生活の質の向上」を達成することにより、計画の基本理念である「全ての市民が共に支えあい、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現」を目指すものです。

健康づくりへの取組状況

○ こころの豊かさ

- ・こころの健康づくりに関する知識の普及・啓発

平成24年度 106回開催 参加者 5,297人

平成25年度 69回開催 参加者 2,751人

- ・こころの健康相談の実施

平成24年度 相談件数 3,155件

平成25年度 相談件数 4,084件

- ・こころの健康（うつ病や自殺予防）についての地域での学習会の実施

平成24年度 50回 参加者 1,551人

平成25年度 41回 参加者 1,772人

○ 運動・食生活・安全・たばこ・アルコール

- ・運動・栄養・休養・禁煙・アルコールなどの健康づくりのための知識の普及

平成 24 年度 119 回開催 参加者 2,692 人

平成 25 年度 93 回開催 参加者 2,511 人

- ・地区ウォーキング大会の開催支援

平成 24 年度 23 地区 88 回 参加者 5,139 人

平成 25 年度 17 地区 147 回 参加者 4,391 人

- ・骨粗しょう症予防のための健康教室の実施

平成 24 年度 60 回開催 参加者 3,231 人

平成 25 年度 73 回開催 参加者 3,333 人

- ・高齢者の転倒・骨折予防についての講座の実施

平成 24 年度 232 回 4,893 人

平成 25 年度 191 回 4,485 人

- ・高齢者の健康に関する相談の実施

平成 24 年度 213 回開催 参加者 3,901 人

平成 25 年度 147 回開催 参加者 2,608 人

○ 歯の健康

- ・8020運動推進などの歯の健康についての知識の普及

平成 24 年度 71 回開催 参加者 4,336 人

平成 25 年度 70 回開催 参加者 3,890 人

- ・成人歯科健康診査の実施（40・50・60・65・70・75 歳）

区 分		平成 24 年度	25 年度
成人歯科健康診査	受診人数（人）	4,417	5,170
	受診率（%）	13.3	14.7

○ 生活習慣病

・がん検診の実施

区 分		平成 24 年度	25 年度
胃 が ん	受診人数 (人)	6,571	6,974
	受診率 (%)	5.7	6.0
大 腸 が ん	受診人数 (人)	36,984	37,822
	受診率 (%)	31.8	32.6
肺 が ん	受診人数 (人)	18,794	19,150
	受診率 (%)	16.2	16.5
子 宮 頸 が ん	受診人数 (人)	14,655	13,051
	受診率 (%)	32.2	28.7
乳 が ん	受診人数 (人)	10,747	10,144
	受診率 (%)	29.2	27.6
前 立 腺 が ん	受診人数 (人)	15,508	15,779
	受診率 (%)	39.3	40.0

・がん・高血圧・心臓病などの生活習慣病予防に関する知識の普及

平成 24 年度 213 回開催 参加者 7,432 人

平成 25 年度 174 回開催 参加者 6,603 人

・生活習慣病などの健康に関する相談の実施

平成 24 年度 92 回開催 参加者 3,734 人

平成 25 年度 124 回開催 参加者 3,247 人

・メタボリック症候群早期発見のための健診の実施

区 分		平成 24 年度	25 年度
特 定 健 康 診 査 40 歳～74 歳	受診人数 (人)	28,173	27,762
	受診率 (%)	41.5	40.5

※25 年度は平成 26 年 7 月 1 日時点の受診人数 (10 月中旬に最終人数確定予定)

・介護予防のための健診の実施

区 分		平成 24 年度	25 年度
長寿はっらっ健診	受診人数 (人)	30,648	31,114
	受診率 (%)	39.3	38.4

(イ) 保健組織活動の推進

市民一人ひとりの積極的な健康管理と自主的な健康づくり意識の高揚を図るため、地域において主体的に健康づくり活動を行う人材を育成し、保健委員会連絡協議会や各地区保健委員会が行う意識啓発や実践活動などの保健組織活動を推進しています。

○ 地区保健委員会の主体的な活動を行う人材の育成

- ・保健委員会連絡協議会の研修会を通じた人材育成の実施

平成 24 年度 「南海地震に備えて～スイッチを入れてCSCATTT」

参加者 160 人

「笑い与健康」

参加者 169 人

平成 25 年度 「生きている喜び 末期がんからの生還」 参加者 311 人

「かかりつけ医の推奨」

参加者 168 人

○ 健康チャレンジの実施

- ・生活習慣病予防のために、地域コミュニティ協議会において、地域ぐるみで健診受診率の向上や地域特性を活かした健康づくりの取組を推進

平成 25 年度 12 コミュニティ協議会

参加者 2,987 人

(ウ) 食生活改善活動の推進

日々のより良い生活習慣が、健康づくりの大きな前提となることから、正しい食生活習慣の普及を図るため、食生活改善推進協議会による地域伝達講習会の開催等、地域における高齢者を中心とした食生活改善の実践活動を推進しています。

○ 地域における食生活改善の実践活動を行う人材の育成

- ・食生活改善推進員（ヘルスマイト）の養成

○ 食生活改善の実践活動

- ・食生活改善推進員による地域伝達講習会の開催

平成 24 年度 「はつらつクッキング教室」 参加者 939 人

「健やかクッキング教室」 参加者 834 人

「糖尿病予防クッキング教室」 参加者 495 人

「男性の料理教室」 参加者 321 人

平成 25 年度 「はつらつクッキング教室」 参加者 873 人

「糖尿病予防クッキング教室」 参加者 868 人

(イ) 感染症予防対策の充実

高齢者は結核やインフルエンザなどの感染症に対する抵抗力が弱いことから、正しい知識の普及に努めるとともに、高齢者を対象にインフルエンザの予防接種や、各地区巡回による結核の定期健康診断を実施し、早期発見・早期治療に結びつけるなど、感染症予防に努めています。

○ 65歳以上のインフルエンザ予防接種の実施

区 分		平成 24 年度	25 年度
インフルエンザ 予防接種	受診人数 (人)	52,442	54,982
	受診率 (%)	51.5	51.8

○ 結核健康診断の実施

区 分		平成 24 年度	25 年度
結核健康診断	受診人数 (人)	11,691	11,927
	受診率 (%)	13.4	11.7

(オ) 介護予防の推進及び啓発

高齢者の心身機能の改善や環境づくりなどを通じて、個々の生活行為（活動レベル）や参加（役割レベル）の向上をもたらし、それによって一人ひとりの生きがいや自己実現のための取り組みを支援して、生活の質（QOL）の向上に努めます。これにより、高齢者の健康寿命をできる限り延ばすことを支援します。

- はつらつ介護予防教室の実施等により、要介護状態にならないように支援しています。
- 認知症サポーターなどの介護予防ボランティアの人材育成等により、社会参加を促し、元気な高齢者の増加に努めています。

イ 生きがいくりと社会活動への参加の促進

(7) 敬老事業

毎年9月には、各地区において75歳以上の高齢者を対象に、地域の特色を生かした敬老会を開催するとともに、市長及び市議会議長等が男女の市内最高齢者と100歳の高齢者宅を訪問し、記念品を贈って長寿を祝っています。

敬老の日の行事内容

区 分		平成 24 年度	25 年度	
敬老会事業	75歳以上(人)	51,506	52,209	
	実施	地区(箇所)	41	41
		施設(箇所)	81	90

●平成 26 年度からは、地域まちづくり交付金事業へ移行

※老人福祉法に定める敬老の主旨を十分に踏まえ、地域の特色を生かしながら、これまで以上に、地域全体で実施することができるよう、平成26年度から地域コミュニティ協議会への地域まちづくり交付金事業に移行する。

高齢者訪問・敬老祝品

区 分	平成 24 年度	25 年度
市内最高齢者	男 104 歳 女 107 歳	男 105 歳 女 108 歳
100歳高齢者(人)	105	101
高齢者訪問(人)	34	33

※敬老祝品については、障がい者施設の生産品(例、和三盆)等も取り入れて実施

敬老祝金支給

区 分	一人当たり 支給額	平成 24 年度	25 年度
77 歳	10,000 円	3,787 人	4,202 人
88 歳	20,000 円	1,536 人	1,628 人
99 歳以上	30,000 円	343 人	363 人

●平成 26 年度からは、77 歳への支給を廃止

※平均寿命の延伸を踏まえ、長寿を祝うという本事業の主旨が薄れてきていることなどから、平成26年度から77歳への祝金支給を廃止し、支給対象年齢を88歳、99歳以上とした。なお、見直しにより生み出された財源で、高齢者を地域全体で支える地域包括ケアシステムの構築を推進するため、高齢者が気軽に利用できる居場所づくり事業や定期的な見守りが必要な高齢者の自宅への訪問などの見守り事業等、新たな事業を実施する。

(イ) 老人クラブ活動への支援

- 老人クラブへの加入促進
 - ・単位クラブを中心とする加入促進活動の実施
 - ・老人大学受講者のうち未加入者への加入促進
 - ・広報紙等の媒体を活用
- 老人クラブ活動内容の充実
 - ・老人クラブ連合会運営・活動事業補助、単位老人クラブ活動助成
 - ・ニュースポーツ等の多様なスポーツ活動の展開
 - ・交通安全指導者研修会を通じた指導者の育成
 - ・情報提供等の機会拡大による活動支援
- 老人クラブ活動を企画・指導する人材の育成を促進
 - ・各種活動を企画・指導する人材を育成する事業等の企画
 - ・指導者研修会を通じた人材育成の促進
 - 平成 24 年 6 月 25 日～ 7 月 3 日、7 会場で開催、参加者 657 人
 - 平成 25 年 6 月 24 日～ 7 月 3 日、7 会場で開催、参加者 714 人
 - ・老人大学を通じた地域福祉のリーダー養成の促進
 - 平成 24 年 5 月 30 日～平成 25 年 2 月 22 日開講
 - (健康・文化・生活の 3 学科で延べ 51 講座実施、修了生 148 人)
 - 平成 25 年 5 月 30 日～平成 26 年 2 月 26 日開講
 - (健康・文化・生活の 3 学科で延べ 51 講座実施、修了生 136 人)

老人クラブの結成状況

区 分	平成 24 年度	25 年度
ク ラ ブ 数 (団体)	381	379
会 員 数 (人)	20,504	20,081

(ウ) 生涯学習・生涯スポーツの推進

- 老人福祉センターにおける健康講座の実施、講座内容の充実
 - ・牟礼老人福祉センター（平成 25 年 3 月 31 日廃止）
 - 歌謡教室 12 回（平成 24 年度） - 回（平成 25 年度）
 - 健康体操 6 回（平成 24 年度） - 回（平成 25 年度）
 - ・茶寿荘
 - 健康教室 10 回 507 人（平成 24 年度） 9 回 528 人（平成 25 年度）
 - 健康体操 14 回 639 人（平成 24 年度） 17 回 704 人（平成 25 年度）

(I) 高齢者の雇用・就業対策の推進

○ シルバー人材センター事業の周知

高松市シルバー人材センター事業

区 分		平成 24 年度	25 年度
高松市シルバー 人材センター事業	会員数 (人)	1,972	1,842
	受注件数 (件)	23,054	23,330
	延べ就業人数(人)	161,341	164,239

高松市シルバー人材センター

事務所	対象地区	住所
本部事務局	旧高松市	高松市西宝町 1 丁目 9-20
南部地区センター	香川町・香南町・塩江町	高松市香川町浅野 836-5 JA 香川県香川浅野支店東隣
東部地区センター	牟礼町・庵治町	高松市牟礼町牟礼 216-1 高松市社会福祉協議会牟礼支所内
国分寺町連絡所	国分寺町	高松市国分寺町新居 1150-1 元国分寺老人福祉センター内

※平成 24 年度より、塩江連絡事務所は、南部地区センターに統合

(カ) 社会活動への参加の促進

○ 長寿手帳の交付

玉藻公園や栗林公園、市美術館（常設展示）などに無料または割引料金で入場できる手帳を交付

区 分	平成 24 年度	25 年度
発 行 人 数 (人)	2,595	3,880

○ 福祉バスの利用

老人クラブの福祉に関する研修会・講習会，社会福祉活動への参加に利用できる福祉バスを提供

区 分	平成 24 年度	25 年度
団 体 数 (人)	51	42
延 べ 人 数 (人)	1,782	1,682

○ 高齢者福祉タクシー助成事業

要介護状態で低所得の高齢者に、タクシー助成券を交付

区 分	平成 24 年度	25 年度
助成券交付人数 (人)	2,944	2,923

(カ) ふれあいの場の確保

○ 高齢者福祉施設

・老人センター

屋島源平荘（高松市屋島中町 453 番地 {屋島コミュニティセンター横}

区 分	平成 24 年度	25 年度
入 浴 (人)	-	-
集 会 室 (人)	0	-

※平成 24 年 4 月 1 日入浴休止、平成 25 年 3 月 31 日廃止

・老人福祉センター

ふれあい福祉センター勝賀（高松市香西南町 476 番地 1）

区 分	平成 24 年度	25 年度
入 浴 (人)	15,471	11,252
集 会 室 (人)	12,134	12,917
テニスコート (人)	3,873	3,209
機能回復訓練室 (人)	19,329	19,484
図書館・児童室 (人)	4,865	4,394
娯 楽 室 (人)	594	662

茶寿荘（高松市観光通 2 丁目 8 番 20 号 {高松市総合福祉会館 2F}

区 分	平成 24 年度	25 年度
延 べ 利 用 者 数 (人)	70,353	65,709

国分寺老人福祉センター（高松市国分寺町新居 1150 番地 1）

区 分	平成 24 年度	25 年度
入 浴 (人)	-	-
集 会 室 (人)	4,248	-

※平成 24 年 4 月 1 日入浴休止、平成 25 年 3 月 31 日廃止

牟礼老人福祉センター（高松市牟礼町牟礼 130 番地 2）

区 分	平成 24 年度	25 年度
入 浴 (人)	3,204	-
集 会 室 (人)	5,299	-
娯 楽 室 (人)	1,957	-

※平成 25 年 3 月 31 日廃止

・介護予防拠点施設

高齢者等の介護予防及び健康の保持増進に関する事業や在宅生活の支援に関する事業、居宅介護支援の質の向上を図るための事業を行うとともに、地域住民の世代間交流の場を提供しています。

香南ふれあい館（高松市香南町横井 1001 番地 2）

区 分	平成 24 年度	25 年度
延べ利用者数（人）	862	1,171

香南地域ふれあいセンター（高松市香南町西庄 511 番地 2）

区 分	平成 24 年度	25 年度
延べ利用者数（人）	533	425

○ 高齢者の居場所づくり

・一人暮らし高齢者等・居場所づくり事業

区 分	平成 24 年度	25 年度		計
	新規	新規	継続	
開 設 件 数（件）	2 (塩江町・三谷町)	2 (屋島東町・牟礼町)	2 (塩江町・三谷町)	4

・高松市高齢者居場所づくり事業

ひとり暮らし高齢者等の閉じこもりや孤立を防ぎ、週 1 回以上活動に参加してもらうことで、生活支援や介護予防、生きがいをにつなげるため、高齢者がいつでも集える居場所づくりを行う住民組織や団体等に、高松市高齢者居場所づくり事業として補助金を交付して支援しています。

平成 26 年度から、おおむね徒歩圏内に 1 か所を目安に、当該年度中に市内約 100 か所、平成 28 年度までの 3 か年に、老人いこいの家などの既存施設の置換えを含め、市内約 300 か所の開設を目指しています。

老人いこいの家（12 箇所）

レクリエーション活動等を通じて高齢者の心身の健康増進を図るとともに、地域での高齢者の会合等の場を提供しています。

施設名	所 在 地	施設名	所 在 地
白 梅 荘	扇町 1 丁目 2-31	西 二 番 丁 荘	扇町 3 丁目 6-15
亀 阜 荘	亀岡町 7-7	新 北 荘	新北町 6-15
楠 上 荘	楠上町 2 丁目 5-11	栗 林 藤 塚 荘	藤塚町 2 丁目 12-23
披雲荘(休止中)	城東町 1 丁目 1-45	玉藻町公共広場	玉藻町 3-20
二 番 丁 荘	番町 2 丁目 13-1	庵治朝日児童公園	庵治町 1256-1
花 畑 荘	多賀町 1 丁目 1-25	牟 礼	牟礼町牟礼 1978-1

老人つどいの家（11箇所）

地 区	所 在 地	地 区	所 在 地
弦 打	鶴市町 691-1	仏 生 山	仏生山町甲 681-12
檀 紙	御厩町 1935-6	多 肥	多肥上町 886-1
円 座	円座町 1298-1	三 谷	三谷町 1414
太 田 南	太田上町 1140	西 植 田	西植田町 3150-3
太 田 北	松縄町 1053-13	東 植 田	菅沢町 43
一 宮	一宮町 286		

老人つどいの部屋（26箇所）

○ 高齢者生きがいデイサービス事業

日常生活に支障のある高齢者又は、ひとり暮らしや高齢者のみの世帯等に、趣味や創作活動、レクリエーションなどのデイサービスを実施

区 分	平成 24 年度	25 年度
実 施 施 設 数 (箇所)	32	32
登 録 人 数 (人)	744	653
延 べ 利 用 者 数 (人)	8,853	7,771

ウ 生活支援事業の推進

(7) 家族介護支援等の推進

○ 寝たきり高齢者等紙おむつ給付事業

寝たきり又は認知症等の高齢者で、常時紙おむつを必要とする方に紙おむつを給付

区 分	平成 24 年度	25 年度
登 録 人 数 (人)	1,853	1,790
延 べ 利 用 者 数 (人)	26,457	19,704

※平成 24 年度からは、寝たきり高齢者等の身体要件を、原則、要介護 3～5 とし、生計中心者を市民税非課税として実施

○ 寝たきり高齢者等介護見舞金支給事業

寝たきり又は認知症の高齢者を、自宅で常時介護している家族の方に、介護見舞金を支給

区 分	平成 24 年度	25 年度
支 給 人 数 (人)	888	884

※平成 24 年度からは、寝たきり高齢者等の身体要件を、要介護 4、5 として実施

○ 高齢者短期入所事業

虚弱な高齢者を、家庭において一時的に養護できなくなった場合に、養護老人ホームでの短期間の入所サービスを提供

区 分	平成 24 年度	25 年度
延 べ 利 用 人 数 (人)	31	40
延 べ 利 用 日 数 (日)	209	238

(イ) ひとり暮らし高齢者等への支援

○ 緊急通報装置貸与等事業

ひとり暮らし高齢者等に、緊急時に押しボタンにより異常事態を消防局に知らせる装置を貸与・給付

区 分	平成 24 年度	25 年度
貸 与 ・ 給 付 件 数 (件)	2,461	2,415

○ 軽度生活援助事業

日常生活上の援助が必要なひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等に、シルバー人材センターの援助員による買物、家周りの掃除などの軽易なサービスを提供

区 分	平成 24 年度	25 年度
登 録 人 数 (人)	2,978	3,182
延 べ 利 用 回 数 (回)	17,364	17,800

○ 高齢者と施設の交流事業

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等に、見守り及び老人福祉施設で調理された食事を自宅まで配食するサービスを提供

区 分	平成 24 年度	25 年度
実 施 施 設 数 (箇所)	10	10
延 べ 食 数 (食)	25,477	23,860

○ 高齢者と地域の交流事業

ひとり暮らし高齢者等を対象に、地域の方々の協力による、閉じこもり予防及び定期的な食事サービス（会食）の提供

区 分	平成 24 年度	25 年度
実 施 地 区 数 (箇所)	28	28
延 べ 食 数 (食)	23,939	23,335

○ 高松市社会福祉協議会食事サービス助成事業

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等に、会員制により、日常における配食サービスに要する費用の一部を助成

区 分	平成 24 年度	25 年度
助 成 食 数 (食)	101,882	94,789

○ 福祉電話貸与事業

低所得のひとり暮らし高齢者等に、福祉電話を貸与

区 分	平成 24 年度	25 年度
貸 与 件 数 (件)	159	166

○ 日常生活用具給付事業

低所得のひとり暮らし高齢者又は身体機能が低下状態にあるひとり暮らし高齢者に、自動消火器、火災警報器、電磁調理器を給付

区 分	平成 24 年度	25 年度
自 動 消 火 器 (件)	32	22
火 災 警 報 器 (件)	27	30
電 磁 調 理 器 (件)	42	40

エ 認知症高齢者等対策の推進

(7) 認知症地域支援ネットワークの構築

地域包括支援センターや関係課及び関係機関等と連携し、地域における認知症ケア体制の充実を図るとともに、認知症の人と家族を支えるための医療支援体制の構築を進める認知症疾患医療センター等と連携し、認知症地域支援ネットワークの構築に取り組んでいます。

また、認知症高齢者支援に携わる専門職を対象に研修を行い、地域における認知症対策についての意識の向上と共通理解を図っています。

さらに各地区高齢者支援連携会議（地域ケア小会議）等の場を活用し、地域住民や民生委員児童委員、老人介護支援センターなどさまざまな関係機関と連携し、地域ネットワークの構築に取り組んでいます。

市民の認知症への理解を深めるため、広報誌やホームページをはじめ、講座や講演会など認知症に関する普及啓発活動を推進しています。

市町村認知症施策総合推進事業（認知症地域支援推進員設置促進事業）

認知症になっても住み慣れたまちで暮らしていくために、若年性認知症についての知識や、若年性認知症の人やその家族の気持ちに対する理解を深め、支援体制を構築することを目的に、若年性認知症講演会及びガイドブック作成等の事業に取り組みました。

・若年性認知症支援セミナーを開催

平成26年2月7日 サンメッセ香川 280人参加
～若年性認知症と社会的支援～ 小長谷 陽子先生
～若年性認知症のご本人の思い～ 当事者・家族

・若年性認知症の人と家族を支えるための「あんしんガイドブック」作成・配布

(イ) 認知症高齢者とその家族等への地域支援 物忘れ・認知症相談

医師や保健師による「物忘れ・認知症相談」を実施し、身近な専門相談機関として認知症の早期発見・早期対応等の支援に取り組んでいます。

区分		平成24年度	25年度
開催回数(回)		24	24
実人数(人)		88	90
内訳	終 結	11	19
	助 言 指 導	27	21
	医療機関紹介	50	50

※平成21年11月より開始

認知症の人を支える家族のつどい（ひだまり）

介護者の悩みや情報交換など仲間づくりを行う場として「認知症の人を支える家族のつどい」（ひだまり）を、開催しています。

区 分	平成 24 年度	25 年度
開催回数 (回)	12	12
延べ人数 (人)	111	93

※平成 22 年 11 月より開始

(ウ) 認知症サポーターなどの介護予防ボランティアの人材育成等

地域住民の認知症高齢者等に対する正しい知識の普及啓発を図るため、平成 21 (2009) 年度から、認知症サポーター養成を実施しています。

認知症サポーターの養成講座

区 分		平成 24 年度	25 年度
実施回数 (回)		92	152
受講実人数 (人)		3,157	6,120
内 訳	一般住民 (人)	1,172	2,065
	企 業 (人)	519	642
	学 校 (人)	477	2,094
	行 政 (人)	757	715
	介護サービス (人)	232	604

認知症サポーターフォローアップ講座

区 分	平成 24 年度	25 年度
実施回数 (回)	1	1
参加実人数 (人)	130	173

介護予防ボランティアのつどい

区 分	平成 24 年度	25 年度
実施回数 (回)	3	1
参加実人数 (人)	149	42

※高松市介護予防ボランティアとは、「元気を広げる人」「認知症サポーター」「介護予防サポーター」の養成講座の受講者を総称したものです。

オ 高齢者虐待防止対策等の推進

- 高齢者虐待防止・対応の適切な措置
- 警察署等の関係機関との連携により、高齢者虐待の防止を図る。
- 高松市高齢者虐待防止・対応マニュアルの市民等への周知
 - ・居宅介護支援事業者説明会で周知
 - ・相談窓口での対応に活用
 - ・通所介護事業者連絡協議会において虐待防止対応研修

カ 地域包括ケア体制の充実

(7) 要援護高齢者名簿の整備

ひとり暮らし高齢者の実態把握に努め、要援護者名簿を整備し、各地区民生委員・児童委員の協力による見守り体制の構築を図る。

(4) 高齢者等への見守り活動

高松市地域で支えあう見守り活動に関する協定

本市、企業・団体等及び高松市民生委員児童委員連盟が、それぞれの立場で連携・協力して、高齢者等の見守り活動及び支援活動を行うことにより、高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できる環境を整備し、もって地域福祉の向上に寄与することを目的とした、地域で支えあう見守り活動に関する協定を締結した。

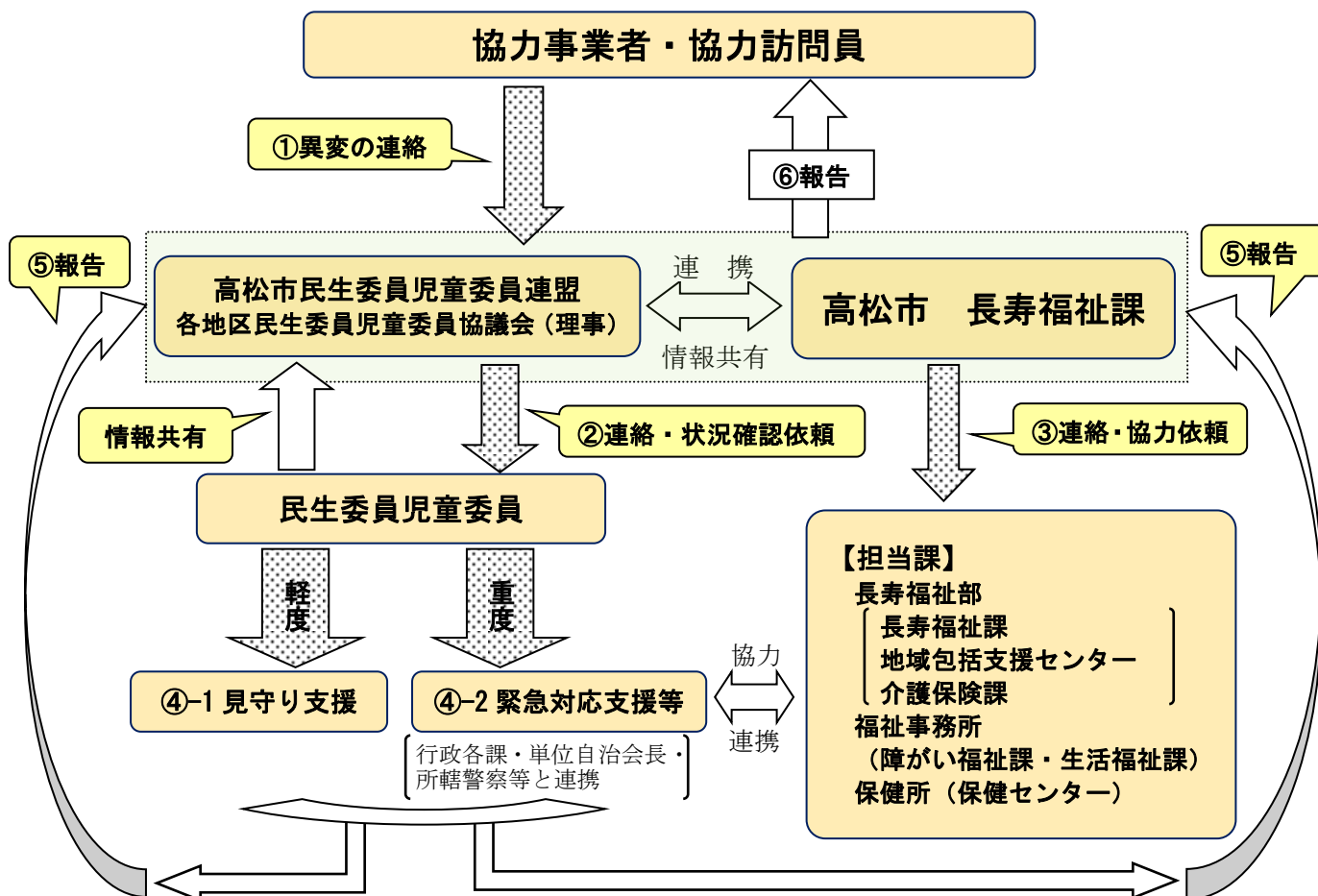
企業・団体等の協力事業者が、通常業務の範囲において、高齢者等支援を必要とする方の御自宅を訪問した際、何らかの異変を発見した場合に、その状況を連絡していただくことで、事故等の未然防止や早期発見など、高松市民生委員児童委員連盟や関係各課等と連携し、適切な対応を図る。

事業の実施状況

区 分		平成 25 年度	26 年度
高松市地域で支えあう見守り活動に関する協定	協定締結事業者数	27	43

※高松市民生委員児童委員連盟を除く。

高松市地域で支えあう見守り活動 フロー図



見守り活動啓発グッズの作成

民生委員児童委員や協力訪問員が行う見守り活動の周知及びPRのため、「広い視野で地域を守る」意味を込めた麒麟のキャラクターがデザインされた見守り活動啓発グッズ（マグネットシート・ステッカー・バッジ）を作成・配布し、取組みの浸透を図る。



高松市高齢者特別あんしん見守り事業（平成26年10月1日施行予定）

公益社団法人高松市シルバー人材センターに委託し、特に定期的な見守り支援が必要な在宅のひとり暮らし高齢者等を対象とした見守り活動を行うことにより、地域における孤立を防ぎ、不審な状況を発見した際の迅速な対応ができる体制を整えることで、高齢者の生活の安全を確保し、可能な限り住み慣れた地域で安心して生活できる環境を整え、自立した生活の継続を図る。

高松市地域で支えあう見守り活動 シンポジウム（平成26年12月2日開催予定）

市民も広く対象とし、サンポートホール高松 大ホールにおいて、超高齢社会において、高齢者をはじめとした、誰もが安心して住み続けることができる地域づくりについて考える、「高松市地域で支えあう見守り活動 シンポジウム」を開催し、有識者による基調講演、パネルディスカッション等の実施を予定している。

(ウ) 地域包括ケアの環境づくり

高松市版地域包括ケアシステム（現在のすがた）

医療（在宅医療・介護との連携）

- 【医療と介護の連携推進】
- ・医師会との連携促進
 - ・「在宅医療連携会議（仮称）」による在宅医療推進の取組
 - ・コミュニティ単位の高齢者支援連携会議（地域ケア小会議）開催による介護と医療の顔の見える関係づくり

- ・認知症サポーターによる見守り
- ・紙おむつ支給
- ・介護見舞金支給
- ・高齢者福祉タクシー助成事業
- ・徘徊高齢者家族支援サービス事業（探査機器購入費助成）

要介護・認知症高齢者等支援

生活支援・社会参加・見守り

高齢者の社会参加

- ・地域のボランティア活動・小学生登下校の見守り・自治会役員当番・公園清掃・趣味の同好会など
- ・老人クラブ・老人大学受講・教養趣味活動
- ・見守り等社会活動
- ・シルバー人材センター加入・働く意欲を支援
- ・生きがいデイサービス
- ・敬老会・敬老祝金支給事業・福祉バス提供

高齢者の見守り・安否確認 生活支援

- ・家族・親族による見守り
- ・民生委員による訪問・見守り活動
- ・地区社会福祉協議会による訪問・見守り活動
- ・民生委員児童委員連盟、事業者等との見守り協定締結
- ・一人暮らし高齢者等・居場所づくり事業
- ・地域支え合い活動リーダー研修（人材育成）
- ・食事サービス（社会福祉協議会・介護家事援助サービス）
- ・緊急通報装置貸与事業
- ・福祉電話貸与事業
- ・高齢者と施設の交流事業
- ・高齢者と地域の交流事業
- ・高齢者短期入所事業
- ・軽度生活援助事業
- ・住宅改造成事業
- ・日常生活用具給付事業（火災報知器・自動消火器・電磁調理器給付）
- ・シルバーハウジング

いつでも元気に地域で暮らす高齢者

【住まい】

- ・戸建住宅
- ・共同住宅（アパート・マンション）
- ・有料老人ホーム
- ・ケアハウス
- ・サービス付き高齢者向け住宅

住まい

- ・訪問看護（病院・診療所・指定訪問看護ステーション）
- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- ・複合型サービス（訪問介護看護）
- ・訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション
- ・居宅療養管理指導
- ・訪問介護、訪問入浴
- ・夜間対応型訪問介護
- ・通所介護、認知症対応型通所介護
- ・福祉用具貸与

介護（在宅介護・介護保険）

- ・特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム等）
- ・地域密着型特定施設入居者生活介護（入居定員29人以下の介護専用型）
- ・認知症対応型共同生活介護（地域密着型）
- ・短期入所生活介護
- ・短期入所療養介護（介護老人保健施設・介護療養型医療施設）
- ・小規模多機能型居宅介護（泊り）
- ・複合型サービス（泊り）

介護予防（悪化させない・必要にさせない）

- ・65歳からの元気いきいき教室
- ・腰痛、膝関節痛、転倒・骨折予防教室
- ・認知症予防教室
- ・その他の介護予防講座
- ・二次予防事業対象者
- ・はつらつ介護予防教室
- ・はつらつ介護予防教室継続教室

- ・認知症サポーター養成講座
- ・元気を広げる人の養成講座修了者
- ・介護予防ボランティアのつどい

キ 災害時の援護体制の整備

各地区においては、災害時や日常の見守り等に備えるため、ひとり暮らし・寝たきり高齢者の把握に努め、要援護高齢者名簿を作成しています。

今後とも、地域による見守り体制を推進していく必要があります。

要援護高齢者名簿登載状況

区 分	平成 24 年度	25 年度
ひとり暮らし高齢者 (人)	9,431	9,542
寝たきり高齢者 (人)	712	621

ク 市民活動団体との連携

田町商店街に設置していたボランティア・市民活動センターを平成24年8月に四番丁スクエア内に移転し、名称を市民活動センターとし、情報収集・提供、NPO活動支援、様々な団体との連携に努めています。

ケ 福祉意識の醸成・啓発

○ 福祉に関する学習機会の拡大

小中学校の総合的な学習の時間において、高齢者との交流を計画する等、高齢者と児童生徒相互が共に学び合える場や理解を深めることのできる場となるよう指導しています。

○ 広報誌などの広報媒体を通じた情報提供、意識啓発

広報紙をはじめ、ホームページ、テレビ、ケーブルテレビ、FMラジオ、有線放送などの広報媒体を活用して、市民に対し情報を提供しています。

コ 安全で住みよい環境づくりの推進

高齢者の住環境の充実

○ サービス付き高齢者向け住宅の普及と適正な運営の確保

登録制度の施行(平成 23 年 10 月)に伴い、制度概要や登録された住宅の情報を提供するとともに、適正な事業運営がなされるよう、指導監督を実施しています。

区 分	平成 24 年度	25 年度
年度末登録施設数 (施設)	23	27
年度末登録住宅戸数 (戸)	688	810

○ 有料老人ホームの普及と適正な運営の確保

入居者の快適な居住環境を確保するとともに、適正な事業運営がなされるよう、指導監督を実施しています。

区 分	平成 24 年度	25 年度
年度末届出施設数 (施設)	49	59
年度末届出定員数 (人)	1,526	1,937

○ 自宅において暮らしやすい生活

・ 高齢者住宅改造助成事業

寝たきり等の状態で、日常生活で介助を必要とする高齢者の世帯に、自宅の浴室・便所等の改造費の一部を助成

区 分	平成 24 年度	25 年度
助 成 件 数 (件)	28	45

(3) サービス基盤の充実

ア 介護保険対象サービス基盤

いずれのサービスについても、おおむねサービス見込量を満たす整備数となっています。今後、入所ニーズの把握や関連施設の整備状況等を勘案し調整を図る中で、それぞれの機能ごとに、地域の実情に応じたサービス基盤の充実に努める必要があります。

主な介護保険対象サービス基盤の整備状況

区 分	平成 26 年度 (見込量)	24 年度末 (実績)	25 年度末 (実績)	26 年度末 (見込)	見込量 との差
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	1,642 床	1,527 床 (26 施設)	1,527 床 (26 施設)	1,617 床 (26 施設)	△25 床
介護老人保健施設	1,274 床	1,260 床 (19 施設)	1,275 床 (19 施設)	1,281 床 (19 施設)	7 床
介護療養型医療施設 (療養型病床群等)		195 床 (10 施設)	195 床 (10 施設)	195 床 (10 施設)	
認知症対応型共同生活介護 (認知症高齢者グループホーム)	873 人	837 人 (43 事業所)	837 人 (43 事業所)	873 人 (45 事業所)	0 人

イ 介護保険対象外サービス基盤

いずれのサービスについてもサービス見込量を満たす整備数となっています。

今後、入所ニーズの把握や関連施設の整備状況等を勘案し調整を図る中で、それぞれの機能ごとに、地域の実情に応じた既存施設の有効活用に努める必要があります。

介護保険対象外サービス基盤の整備状況

区 分	平成 26 年度 (見込量)	24 年度末 (実績)	25 年度末 (実績)	26 年度末 (見込)	見込量 との差
養護老人ホーム	200 床	200 床 (2 施設)	200 床 (2 施設)	200 床 (2 施設)	0 床
軽費老人ホーム (ケアハウス)	488 人	488 人 (13 施設)	488 人 (13 施設)	488 人 (13 施設)	0 人
老人介護支援センター	28 か所	28 か所	28 か所	28 か所	0 か所
老人福祉センター	3 施設	4 施設	2 施設	2 施設	△1 施設